

# チャレンジプロジェクト 自己評価シート

## ⑤ 笑顔咲く子どもプロジェクト

### ① 挑戦する力を育てる学び推進

目標	子どもたちが夢や希望を抱き、自らの可能性に挑戦する力を育むために、知・徳・体をバランスよく育むとともに、社会的・職業的自立に必要な態度・能力を育む教育やICT 教育を推進します。					
総括	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画通り進捗した。					
数値 目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各学年におけるICTを活用した学習活動の目標回数	—	小学校1～2年生:1～3回/日 小学校3～4年生:2回/日 小学校5～6年生:3回/日 中学生:3回/日 (令和5年度)	80.9%の学校において以下の目標を達成 小学校1～2年生:1～3回/日 小学校3～4年生:2～3回/日 小学校5～6年生:2～3回/日 中学生:2～3回/日		
	ICT 教育推進に関するICT 研修の延べ参加人数	—	750 人 (令和5年度)	延4,848人		
	プログラミング教材導入校数	119 校 (令和2年度)	184 校 (令和5年度)	184校		
	生活・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合	小6:82.8% 中3:70.9% (令和元年度)	小6:85.0% 中3:75.0% (令和5年度)	小6 : 79.1% 中3 : 69.5%		
	生活・学習状況調査における「将来の可能性を広げるために、勉強をがんばっている」と答えた児童生徒の割合	小6:76.5% 中3:71.6% (令和元年度)	小6:78.0% 中3:73.0% (令和5年度)	小6 : 76.1% 中3 : 75.4%		
	標準学力検査において、基礎的知識の定着目標を達成している児童生徒の割合が70%を超える教科の数	10 教科 (令和元年度)	14 教科 (令和5年度)	8 教科		
生活・学習状況調査における「勉強をとおして、新しいことが分かるようになるのは楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合	小6:88.5% 中3:84.4% (令和元年度)	小6:91.0% 中3:87.0% (令和5年度)	小6 : 87.4% 中3 : 85.1%			

## 84 ICT教育推進事業

担当:教育局

事業概要	児童生徒の活動スキル・探究スキル・プログラミング・情報モラルを高めるため、系統的・教科横断的な授業を展開することで情報活用能力の育成を進めるとともに、教員のICTを活用した指導力の向上を図るため、ICT研修の充実、授業づくりの支援を実施します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	ICTを活用した授業の展開		
	教員へのICT研修の実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<p>○ICTを活用した授業の展開：令和5年度の目標値の達成やさらなる向上に向け、児童生徒の実態に合わせた年度毎の段階的目標を設定してICTを活用した学習活動に取り組み、令和3年度の目標とした小学校1～2年生：1～3回/日、小学校3～4年生：2～3回/日、小学校5～6年生：2～3回/日、中学生：2～3回/日を、80.9%の学校で達成</p> <p>○教員へのICT研修の実施：教員のキャリアステージに応じた研修の他、オンラインや学校のニーズに合わせ訪問型の研修を実施し、より多くの教員が研修に参加した</p>		
評価の理由	ICTの活用に全ての学校で取り組み、多くの学校で活用目標回数を達成しており、概ね順調に進捗している。また、研修をオンラインや訪問型で実施し、多くの教員の参加を促すことができた。今後、ICT支援員による学校への訪問支援や活用事例の周知などを充実し、学校でのICT活用の推進を図る。		

## 85 新学習指導要領を踏まえた教育の充実事業

担当:教育局

事業概要	小学校・中学校における新学習指導要領の全面実施を受け、新たな教育活動である外国語教育やプログラミング教育などに取り組むため、各学校へのALTの派遣による研修やプログラミング教材の導入など各学校に対して支援を行います。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	全小学校へのALT派遣、小学校外国語教育推進校への指定		
	プログラミング教材の導入と活用、カリキュラムの試行と実践		
進捗状況	△コロナ		
令和3年度の主な実績	<p>○全小学校へのALT派遣、小学校外国語教育推進校への指定：新型コロナウイルス感染拡大の影響により回数制限はあったが、全小学校にALTを派遣できた一方、小学校外国語教育推進拠点校ALTによる全小学校訪問（各1回）と拠点校（全5校）での授業公開を中止</p> <p>○プログラミング教材の導入と活用、カリキュラムの試行と実践：中学校に必要な教材（専用テキスト含む）を整備した他、プログラミング教育研修を2回実施して小中学校におけるプログラミング教育の実践事例の紹介などを行い、プログラミング教育の推進を図った</p> <p>また、教育センターOJTサポート事業により、プログラミング教育に係る校内研修の支援を行うとともに、教育センターの教育の情報化研究委員会において、プログラミング教材を活用した実践授業の提案を行った</p>		
評価の理由	<p>コロナウイルス感染症拡大の影響により新規ALTの入国が遅れたものの、配置済のALTの応援派遣を実施し、計画回数（原則週1回）に近い派遣を全小学校に対し実施できた。</p> <p>また、コロナ第5波・第6波の影響により、推進拠点校ALTによる全小学校訪問と授業公開をやむなく中止した。感染症対策を優先し、代替策での実施を計画したが感染状況が改善しなかったため実施には至らなかった。</p>		

## 86 仙台自分づくり教育推進事業

担当:教育局

事業概要	仙台版キャリア教育である仙台自分づくり教育を推進するため、調査研究、社会的・職業的な体験活動の実施、社会人講師の学校への派遣、たくましく生きる力の素地となる知恵や態度を育成する事業を行います。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	全中学校での3日間以上の職場体験活動の実施、職業講話の実施		
	仙台子ども体験プラザでの「スチューデントシティ・ファイナンスパーク」の実施		
	「たく生き」プラン集の改訂	改訂版「たく生き」プラン集での実践	
進捗状況	<span style="font-size: 2em;">△</span> <span style="font-size: 2em;">コロナ</span>		
令和3年度の主な実績	○全中学校での3日間以上の職場体験活動の実施、職業講話の実施：中学校における職場体験活動の実施12校、職業講話実施124校（小学校100校、中学校24校） ○仙台子ども体験プラザでの「スチューデントシティ・ファイナンスパーク」の実施：スチューデントシティ実施92校（未実施26校）、ファイナンスパーク実施67校（市立65校、県立1校、私立1校） ○「たく生き」プラン集の改訂：現プラン集を改訂、「2022たく生き授業プラン集」を発行		
評価の理由	コロナウイルス感染拡大防止のため、職場体験活動は中学校64校中12校の実施に留まった。接触機会を減らすため実施しなかった学校、受け入れ先の確保が困難で実施できなかった学校が多かった。 小学生のスチューデントシティは子ども体験プラザで実施したが、中学生のファイナンスパークは職員派遣により学校で実施したところが多かった。また、たく生き実践委員の授業実践をもとに「たく生きプラン集」を改訂しており、令和4年度より各校で活用・実践を行う。		

## 87 確かな学力育成事業

担当:教育局

事業概要	児童生徒の確かな学力の確実な定着を図るため、「仙台市確かな学力育成プラン2018」に基づき、児童生徒の学力、生活・学習状況を的確に把握するとともに、指導手法・指導体制の充実のための施策と、児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣定着のための施策を体系的に実施します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	仙台市標準学力検査及び生活・学習状況調査の実施と分析		
	教育指導手法の充実		
	教育指導体制の充実		
	新たな学力育成プランの検討	新プランを基に事業実施	
進捗状況	<span style="font-size: 2em;">○</span>		
令和3年度の主な実績	○仙台市標準学力検査及び生活・学習状況調査の実施と分析：学力向上に関する調査・実践報告書の編集・発行を行った ○教育指導手法の充実：大学と連携した改善授業を実施 ○教育指導体制の充実：中1数学小人数指導、小学校高学年教科担任を実施した他、学力サポートコーディネーター派遣、教科指導エキスパート派遣などを実施 ○新たな学力育成プランの検討：現行プランの検証、新プランの検討を実施		
評価の理由	児童生徒の学習状況の現状や課題を客観的に分析することで、児童生徒の生活習慣や学習環境を的確に把握し、各学校での改善方策の作成や個に応じたきめ細かな指導に活かしている。標準学力検査と生活・学習状況調査の調査結果の相関関係の分析により、生活・学習習慣と学力との関連性が明らかになっており、児童生徒への指導や保護者への周知による家庭での習慣見直しに活用することができた。		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

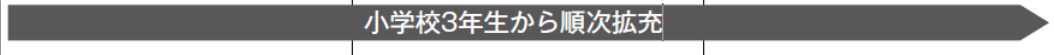
### ⑤笑顔咲く子どもプロジェクト

#### ②個性に応じた一人ひとりの学び推進

目標	子どもたちの個性に応じた様々な学びにきめ細かく対応し、長所を最大限引き出すため、少人数学級の推進や不登校への対応、特別支援教育など多様性に応じた教育を推進するとともに、学校における働き方改革など学びを支える教員がより一人ひとりに向き合える環境づくりに取り組みます。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	小学校における35人以下学級実施学年	1・2学年 (令和2年度)	3学年以上でも 順次実施	3学年まで 実施	/	/
	不登校対策に関する「学校訪問相談員」の配置人数	5名 (令和2年度)	8名 (令和5年度)	8名	/	/
心のバリアフリー推進事業の延べ実施校数	40校 (令和2年度)	70校 (令和5年度)	52校	/	/	

#### 88 35人以下学級推進事業

担当:教育局

事業概要	教員が児童一人ひとりより丁寧に向き合い、少人数によるきめ細かな指導を行っていく体制を構築するため、小学校における35人以下学級を拡充します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			
進捗状況	○	/	/
令和3年度の主な実績	○小学校3年生から順次拡充：小学校3年生まで35人以下学級を拡充するとともに、必要となる教員（非常勤講師18名）を配置し、学校運営に必要な経費を通常の学校配当費に加算し配当（令和4年度は新たに小学校4年生へ拡充した）		
評価の理由	8月に実施した教職員向けアンケートでは、「児童と向き合う時間が確保できるようになった」、「児童の理解度や興味・関心に応じたきめ細やかな指導ができるようになった」、「担任が処理する事務量が減った」などの回答があり、一定の効果があつたと判断できる。また、学校運営に必要な経費について、通常の学校配当費に加算して配当し、適正に執行することができた。		

## 89 学校における働き方改革推進事業

担当:教育局

事業概要	教職員の多忙化を解消するため、教職員以外が担うことができる業務の整理や業務の効率化、教員の指導体制の充実を図り、学校における働き方改革を推進します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	35人以下学級、いじめ対策、教職員以外の体制など人員体制の充実		
	教科担任制の導入		
	業務分担の適正化		
	ICT活用による校務効率化の推進		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○35人以下学級、いじめ対策、教職員以外の体制など人員体制の充実：小学校1～3年生及び中学校全学年で35人以下学級を実施し、いじめ対策担当教諭を必要な全校に配置したことに加え、スクールサポートスタッフや部活動指導員などの人員体制を充実させた</li> <li>○教科担任制の導入：英語や理科などで専科加配を配置</li> <li>○業務分担の適正化：災害給付金の支給を全校で保護者口座への振込に変更</li> <li>○ICT活用による校務効率化の推進：オンラインやオンデマンドによる研修の増加</li> <li>○ワーク・ライフ・バランスの推進：長期休業期間の学校閉庁日の設定</li> </ul>		
評価の理由	<p>小学校3年生の35人学級の拡大や、いじめ対策担当者、専科加配等を配置したことにより、多種多様な業務内容にチームで対応することができ、教職員が児童生徒と向き合える時間を確保する一助となった。</p> <p>また、オンラインやオンデマンド研修の増加は、研修会場への移動時間の削減につながった他、長期休業期間の学校閉庁日を設定したことで、年次有給休暇を取得しやすい環境の構築につながった。</p>		

## 90 不登校対策推進事業

担当:教育局

事業概要	学校における不登校の未然防止や早期発見・早期対応を推進するため、不登校児童生徒の個々の状況に応じた環境づくりや適切な支援に向け、適応指導センターや適応指導教室、在籍学級外教室の取り組みを推進するなど、様々な視点から、家庭と学校・関係機関などの連携に取り組んでいきます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	「児遊の杜」「杜のひろば」における適応指導の充実等		
	在籍学級外教室「ステーション」の取り組み推進		
	専門職による支援・ICTを活用した学習支援等		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「児遊の杜」「杜のひろば」における適応指導の充実等：入級児童生徒数は、児遊の杜57名、8箇所杜のひろば127名の合計187名（令和2年度開設の杜のひろば・広瀬は4名から10名に増加）</li> <li>○在籍学級外教室「ステーション」の取り組み推進：令和3年度から設置校を5校増やし、中学校10校で運用</li> <li>○専門職による支援・ICTを活用した学習支援等：学習支援オンライン教材eライブラリの利用児童生徒数28名</li> </ul>		
評価の理由	<p>在籍学級外教室「ステーション」設置校を5校増として事業を拡充した他、学校現場における支援のサポートを行うことで、不登校対策を推進してきた。</p> <p>児童生徒の多様な支援が必要になってきたことから、引き続き家庭と学校・関係機関の連携を進めながら取り組んでいく。</p>		



91 特別支援教育推進事業

担当:教育局

<p>事業概要</p>	<p>障害のある児童生徒の学びと育ちを保障するため、補助員や支援員、看護師の配置などを行うとともに、共生社会の実現を目指し、児童生徒の社会性や豊かな人間性を育むための取り組みを実施します。また、学習環境の整備、学校での支援体制、授業や指導の充実を図ります。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>心のバリアフリー推進事業の実施</p>			
<p>特別支援教育における人的支援事業の実施</p>			
<p>特別支援教育実践研究協力校の認定</p>			
<p>読み書きに困難のある児童への支援事業の実施</p>			
<p>病気療養児に対する遠隔教育事業の実施</p>			
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>
<p>令和3年度の主な実績</p>	<p>○心のバリアフリー推進事業の実施：小学校10校を実施校に認定し、障害者スポーツの体験や障害のあるアスリート等との交流活動を実施                  ○特別支援教育における人的支援事業の実施：障害があり特別な配慮を必要とする学校に対し、指導支援員71名・指導補助員206名・介助員7名・看護師24名を配置                  ○特別支援教育実践研究協力校の認定：15校を認定し、報告書により研究成果を市立学校園に普及                  ○読み書きに困難のある児童への支援事業の実施：教員の指導力向上を図るため担当者研修を実施                  ○病気療養児に対する遠隔教育事業の実施：通知により学校に周知したが活用実績はなかった</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応として、心のバリアフリー推進事業や読み書きに困難のある児童への支援事業において、一部予定通りの活動や研修を実施できない点もあったが、必要な学習環境の整備や学校における支援体制の充実に努めることができた。支援員等の配置については、ニーズが増加傾向にある中、適宜配置を実施し、学校現場の学習環境整備を行うことで、児童生徒の多様な学びの支援や教員のサポートを行ってきた。今後も適切で効果的な配置を継続して実施する。</p>		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑤笑顔咲く子どもプロジェクト



#### ③学校・地域・家庭の協働による学びや成長の環境づくり推進

目標	学校・地域・家庭による子どもたちの豊かな学びや成長の環境づくりを進めるため、コミュニティ・スクールの推進、学校支援地域本部の運営や地域学校協働活動の体制づくりなどに取り組みます。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	児童クラブの待機児童数	17人 (令和2年5月1日時点)	0人 (令和5年5月1日時点)	5人 (令和3年5月1日時点)		
	コミュニティ・スクールを導入した学校・園の数	—	189校 ※ (令和5年度)	69校 ※		
	コミュニティ・スクールを導入した学校・園において、年3回以上学校運営協議会を開催した学校数	—	189校 (令和5年度)	12校		
	学校支援ボランティアの延べ人数	118,669人 (令和元年度)	120,000人 (令和5年度)	9,177人		
	統括的な地域学校協働活動推進員の配置人数	2人 (令和2年度当初)	5人 (令和5年度)	5人		
地域学校協働活動に係る研修人数	62人 (令和2年度)	150人 (令和5年度)	601人			

※令和2年度に導入済みの17校を含む。

### 92 放課後児童クラブ推進事業

担当: 子供未来局

事業概要	「仙台市すこやか子育てプラン」に基づき、小学校就学児童が放課後などを安全・安心に過ごすことができる居場所の確保を図るため、放課後児童クラブの計画的な整備などを推進するとともに、放課後子ども教室と連携し、放課後対策事業の充実を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	<div style="text-align: center;">   </div>		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○放課後子ども総合プラン運営委員会の開催：令和3年度・4年度の審議テーマを「放課後児童クラブと放課後子ども教室のコロナ禍における事業運営について」に設定し、コロナ禍における各事業の実施状況の変化などについて現場調査（アンケート）を実施した</li> <li>○児童クラブサテライト室の整備：放課後児童クラブサテライト室を拡充（9小学校区に9か所新設）</li> </ul>		
評価の理由	本市の実情に応じた効果的な放課後児童クラブの実施等に向け、委員会を2回実施すると共に、小学校の余裕教室を活用し適切に児童クラブサテライト室を整備した。		

93 コミュニティ・スクール推進事業

担当:教育局

事業概要	学校と家庭、地域がパートナーとして目標・ビジョンを共有し、互いの役割を理解・分担しながら地域総ぐるみで子どもたちの成長に関わるため、学校支援地域本部と連携・協働しながら、市立学校・園においてコミュニティ・スクールの導入と推進を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	コミュニティ・スクールの順次導入		次年度開催フォーラムの準備
	実施状況の把握と情報提供		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティ・スクールの順次導入：52校・40協議会を設置し、令和2年度と合わせて69校・52協議会となった</li> <li>○実施状況の把握と情報提供：各校を訪問しての概要説明や研修の対応（125回・令和2年度の約3倍）の他、教頭を対象とした研修会を実施</li> </ul>		
評価の理由	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により地域対象の説明会や学校運営協議会の開催を見送る状況もあった中で、導入数を着実に伸ばすことができた。</p> <p>また、市民局や健康福祉局との連携により、仙台版コミュニティ・スクールの推進に向け、各区との情報共有や町内会、民児協に対し周知することができた他、事務職員や地域連携担当を対象とした研修会で説明を行ったことで、教職員の専門性や役割を生かしながらコミュニティ・スクールの推進することの意識付けが進んだ。</p>		

94 学校支援地域本部事業

担当:教育局

事業概要	学校・家庭・地域が一体となって地域総ぐるみで子どもを育成する体制を構築し、学校の求めと地域の力をマッチングさせて、学習環境づくりや指導の補助などに生かすことにより、市民が学校を支援する活動を推進します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	学校支援地域本部の活動充実、スーパーバイザーなどの後進育成		
	コミュニティ・スクールとの連携・協働		
	他の地域学校協働活動団体との連携		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校支援地域本部の活動充実、スーパーバイザーなどの後進育成：本部設置校・連携校数180校（令和2年度から5校増）、年間活動日数（延）18,327日（同3,876日増）、ボランティア実数9,177名（同317名減）、スーパーバイザー代表者会3回実施、スーパーバイザー連絡協議会6回実施</li> <li>○コミュニティ・スクールとの連携・協働：スーパーバイザー連絡協議会で情報提供などを実施</li> <li>○他の地域学校協働活動団体との連携：生涯学習課と地域学校協働活動推進のパイロット事業への協力</li> </ul>		
評価の理由	<p>読み聞かせやミシン、書写の授業補助、部活動における指導、放課後学習支援、校外学習や登下校時の安全確保のための見守り、専門性を活かした施設・設備の維持・管理、図書管理・貸出業務、環境整備などの学校支援を行うことで、地域資源が効果的に活用できた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティア実数は減少したものの、設置校・連携校の増加によりカバー率は増加した。また、年間活動日数は安全見守りなどの充実により大幅に増加し、過去最高日数となった。</p>		



95 地域学校協働活動推進事業

担当:教育局

<p>事業概要</p>	<p>地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びを支えるため、関係者同士で顔の見える関係づくりと協働に向けた意識啓発を行うとともに、コミュニティ・スクールと連動する仕組みづくりを行います。また、地域学校協働活動の啓発を行い、学びを通じた地域づくりを目指します。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>研修などにおける周知活動</p>			
<p>パイロット事業の実施</p>		<p>パイロット事業の事例・ノウハウの周知</p>	
<p>統括的な地域学校協働活動推進員の委嘱</p>			
<p>進捗状況</p>	<p style="text-align: center;">○</p>		
<p>令和3年度の主な実績</p>	<p>○研修などにおける周知活動：新任校長・教頭研修、社会学級合同ブロック会、各区地域学校連携事業などにおいて、地域学校協働活動の意義の浸透を図った                  ○パイロット事業の実施：コミュニティ・スクール設置地域から4地区を選定し、学びを通じた地域づくりのコーディネーター役である地域学校協働活動推進員を4名委嘱してパイロット事業を実施                  ○統括的な地域学校協働活動推進員の委嘱：統括的な地域学校協働活動推進員を5名委嘱し、研修などのあり方を討議</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>研修などにおける周知活動では、目標値を大きく上回る研修人数となった。一方、パイロット事業では、地域学校協働活動推進員を4名委嘱し、各地域において活動を始めたが、新型コロナウイルス感染症の影響で会議や活動が中止となったことから、取材活動ができなかった。令和4年度も引き続きパイロット事業を実施し、得られた知見をもとに、ハンドブックなどを作成し、地域学校協働活動を推進するための体制づくりを進める。</p>		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑤ 笑顔咲く子どもプロジェクト

#### ④ 切れ目のない子育て支援

目標	子育て家庭が安心して子どもたちを育てることができ、子どもたちも健やかに成長できる環境をつくるため、妊娠期から出産・子育て期にわたるアウトリーチも含めた相談の充実や各種健診の実施、保育環境の整備や多様な保育サービス提供など、切れ目のない子育て支援に取り組みます。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	「のびすく」5館の利用者アンケートにおける満足度	92.8% (令和元年度)	90.0% (令和5年度)	92.8%	/	/
	子育て支援ネットワーク交流会参加者アンケートにおける満足度	94.3% (令和元年度)	90.0% (令和5年度)	96.4%	/	/
	SNSを活用した子ども・子育て相談におけるアカウントの登録者数	—	2,000名 (令和5年度)	808名	/	/
	妊婦健康診査の受診件数	95,368件 (令和元年度)	90,000件 (令和5年度)	87,541件	/	/
	育児ヘルプ家庭訪問事業の延べ利用回数	2,118回 (令和元年度)	2,100回 (令和5年度)	2,276回	/	/
	幼児健康診査の受診率	1歳6カ月:98.3% 2歳6カ月:96.0% 3歳:95.7% (平成30年度)	基準値を維持	1歳6カ月:98.0% 2歳6カ月:95.4% 3歳:95.8%	/	/
	児童館整備に関する年度別事業進捗率	—	100% (令和5年度)	39%	/	/
	児童館の乳幼児親子利用者数	523,696人 (平成30年度)	520,000人 (令和5年度)	161,602人	/	/
	保育士を十分に確保できた施設の割合	77% (令和2年度当初)	80% (令和5年度当初)	79% (令和3年度当初)	/	/
保育施設などの利用定員数 ※企業主導型保育事業を含む	21,823人 (令和2年度当初)	23,324人 (令和5年度当初)	23,085人 (令和4年度当初)	/	/	

<p>事業概要</p>	<p>地域における子育て支援の充実を図るため、「のびすく(子育てふれあいプラザ等)」における子育て支援事業を推進するとともに、「のびすく」を中心として、子育て支援団体など相互の情報交換や交流を促進し、全市的な子育て支援ネットワークの構築を図ります。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
	<p>「のびすく」の運営・管理</p>		
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>		
<p>令和3年度の主な実績</p>	<p>○「のびすく」の運営・管理：乳幼児親子の交流の場の提供や一時預かり、子育てに関する情報の収集・提供やのびすく子育てコーディネーターによる子育て相談などを実施                  ○全市的な子育て支援ネットワークの構築：子育てや児童福祉に係る関係機関、子育て支援団体が、組織や地域にとらわれずスキルや情報を共有し、互いに連携、協力できる顔の見える関係を構築するため、市内の子育て支援者が集まり事例をもとに意見交換をする交流会「せんだい子育て支援者ネットワーク研修2021～地域の子育て支援から、コロナ禍で孤立する親子支援を考える～」を11月に開催</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>のびすくでは、新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館した期間があった他、交流の場や一時預かりなどにおいて利用者数の抑制を行ったことから利用ニーズに応えられない部分があったが、利用者の満足度は高く、子育て家庭における子育てに対する負担や不安の軽減を図ることができた。また、日々の子育てに関して、親族や近隣からの協力や助言を受ける場面が減り、子どもたちが地域の人々と交流する機会も減少するなど、地域や家庭の子育て力の低下が懸念されている状況を踏まえ、のびすくなどの子育て支援施設や子育て支援団体など地域の関係機関・団体と連携し、地域全体で子育てや家庭をサポートする仕組みづくりに取り組んだ。</p>		

97 子ども・子育てに関するオンライン等相談事業

担当: 子供未来局

<p>事業概要</p>	<p>子育て・家庭・親子関係や妊娠などの悩みを抱える方が、気軽に相談できるよう、SNSを活用した相談窓口を開設するとともに、対面・来所によらないオンラインを活用した保健指導に取り組むなど、各種相談・情報提供体制の充実に努めます。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>SNSを活用した子ども・子育て相談の実施</p>			
<p>妊娠等に関する相談事業の実施</p>			
<p>オンラインによる相談体制・情報提供の拡充</p>			
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>
<p>令和3年度の主な実績</p>	<p>○SNSを活用した子ども・子育て相談の実施：相談体制を構築し9月から事業開始、登録者数808名、相談件数457件                  ○妊娠等に関する相談事業の実施：11月より電話相談及びLINEによる相談を開始、電話相談は4件、LINE相談は24件（令和4年3月末まで）                  ○オンラインによる相談体制・情報提供の拡充：コロナ対応として助産師サロンをオンライン開催（34回、参加71組）した他、せんだいTubeにて沐浴に関する動画や食育、歯磨きに関する動画を公開                  また、子育て家庭向けの専用ホームページやメールマガジンによる定期的な情報発信、メールによる相談支援モデル事業（相談3,702件）、のびすく各館での子育て支援専門相談員によるオンライン相談事業（相談32件）を実施</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>各事業ともおおむね予定通り事業開始することができた。SNSを活用した子ども・子育て相談を実施するとともに、妊娠等に関する相談事業については、従前からの電話相談に加えLINEによる相談を可能とした。相談者にとって身近なツールを導入したことで、より相談しやすい状況になった。交流形式で実施していた助産師サロンは、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえオンラインで実施したことにより、相談者のニーズに応えることができた。                  また、情報提供の拡充として、専用ホームページなどの活用により、支援を必要としていながら、利用可能な支援情報を把握できていない世帯や、様々な事情から既存の相談窓口につながることでできていない世帯に対して情報提供ができた。                  加えて、のびすくでは、新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館した期間があったほか、利用者数の抑制を行っていたが、オンラインによる相談体制の整備により、来館せずとも相談を受けることが可能となり、子育て支援を継続することができた。</p>		

98 妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業 担当: 子供未来局、各区

<p>事業概要</p>	<p>母子保健事業や子育てに関する相談対応を実施するとともに強化を図り、妊娠を望む方、妊婦、産婦、産後の母子や0歳から就学までの子どもとその親を支援することで、妊娠期から子どもが就学に至るまでの、切れ目のない支援の充実を図ります。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>各種事業の実施</p>			
<p>妊娠等に関する相談事業の拡充</p>			
<p>5歳児発達相談事業の実施</p>			
<p>産後ケア事業の実施</p>			
<p>オンラインによる相談体制・情報提供の拡充</p>			
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>
<p>令和3年度の主な実績</p>	<p>○各種事業の実施：母子保健事業や子育てに関する相談対応等について、前年度に引き続き実施したことに加えて、以下の事業を新たに実施することで、妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図った</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠を望む方への支援：不育症検査費用助成事業（10月開始）</li> <li>・妊婦への支援：特定妊婦と疑われる者に対する産科受診等支援事業（令和4年1月開始）</li> <li>・産婦への支援：産後ケア事業における多胎児家庭の利用上限日数を加算（4月開始）</li> <li>・乳幼児への支援：フッ化物歯面塗布助成事業（4月開始）</li> <li>・数値目標を設定している下記事業の実績については以下の通り 妊婦健康診査の受診件数87,541件、育児ヘルプ家庭訪問事業の延利用回数2,276回、幼児健康診査の受診率1歳6か月児：98.0%、2歳6か月児：95.4%、3歳児：95.8%</li> </ul> <p>○妊娠等に関する相談事業の拡充：11月より電話相談及びLINEによる相談を開始、電話相談は4件、LINE相談は24件（令和4年3月末まで）</p> <p>○5歳児発達相談事業の実施：4月より本格実施、相談件数延324件</p> <p>○産後ケア事業の実施：宿泊型利用延日数755日、デイサービス型延日数575日（利用延日数計1,330日）</p> <p>○オンラインによる相談体制・情報提供の拡充：コロナ対応として助産師サロンをオンライン開催（34回、参加71組）した他、せんだいTubeにて沐浴に関する動画や食育、歯磨きに関する動画を公開</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>令和3年度新規事業については、おおむね予定通り事業開始することができた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により一時中止した事業もあったが、手法を見直すなどし、感染対策を十分に行ったうえで継続実施することができた。特に交流形式で実施していた助産師サロンについては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら適宜オンラインで開催するなどし、相談者のニーズに応えることができた。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に引き続き3～4か月児育児教室を中止していたが、対象者全数への電話かけや資料送付によりフォローを行った。</p>		



<p>事業概要</p>	<p>小学校区単位を基本として、児童館を整備するとともに計画的な修繕に基づく施設の環境改善を進めます。また、児童クラブをはじめとする児童の健全育成事業や自由来館児童の受け入れのほか、乳幼児親子の交流や子育て相談、幼児クラブの開設、子育てサークルの育成などにより、子育て家庭への支援の充実につながる児童館運営を進めます。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p> <p>将監地域複合施設：建設工事</p> <p>東六番丁：実施設計</p> <p>片平：実施設計</p> <p>東中田・水の森・七北田・根白石：大規模修繕工事</p> <p>沖野：大規模修繕工事</p> <p>南光台東・住吉台：大規模修繕実施設計</p>	<p>令和4年度</p> <p>東六番丁：改築工事</p> <p>片平：改築工事</p> <p>南光台東・住吉台：大規模修繕工事</p> <p>貝ヶ森・虹の丘・松陵：大規模修繕実施設計</p>	<p>令和5年度</p> <p>貝ヶ森・虹の丘・松陵：大規模修繕工事</p> <p>高砂・遠見塚：大規模修繕実施設計</p>
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>	<p>（この欄は斜線表示されています）</p>	
<p>令和3年度の主な実績</p>	<p>○将監地域複合施設：建設工事を実施</p> <p>○東六番丁：実施設計を実施、諸調整により一部を令和4年度に繰越</p> <p>○片平：実施設計を実施</p> <p>○東中田・水の森・七北田：大規模修繕工事を実施、なお、根白石は大規模修繕工事から移転改築することに方針を変更</p> <p>○沖野：大規模修繕工事を実施</p> <p>○南光台東・住吉台：大規模修繕実施設計を実施</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>一部の事業で繰越となったが、施設の長寿命化など、適切な施設整備に向け、年次計画に基づき事業を推進することができた。</p>		

## 100 保育士等人材確保推進事業

担当: 子供未来局

事業概要	保育士不足を解消するため、保育士として就職・復職を希望する方を対象とした就職説明会や保育士リターンセミナーを実施するほか、各種補助金による経済的な支援により保育士などの処遇向上と労働環境の改善を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各種保育士等人材確保事業の実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種保育士等人材確保事業の実施：以下の通り</li> <li>・保育士リターンセミナー（参加者数13名）</li> <li>・保育士のためのWeb合同就職説明会（37事業者、参加者数延254名）</li> <li>・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の実施（114施設、保育士314人分）</li> <li>・保育士等就労スタートアップ事業補助金（268施設、1,064人分）</li> <li>・キャリアアップ研修参加支援助成金（272施設、1,901人分）</li> <li>・産休等代替職員費補助金（12施設）</li> </ul>		
評価の理由	感染症拡大を予防するため、就職説明会はWeb上での開催とした。課題となっていた参加事業者側のWebスキル向上について、事前説明会の中でセミナーを行った結果、若手の職員が自分の経験を話す動画を活用する事業者が現れるなど、Webの特色を生かした求人活動が進んだ。今後も保育士としての就職・復職を促進するとともに、離職予防の取り組みを進めることで保育士不足の解消を目指す。		

## 101 保育施設・幼稚園における保育の提供体制 充実事業

担当: 子供未来局

事業概要	保育基盤が不足する地域に保育所などを整備するとともに、幼稚園などから認定こども園への移行や幼稚園における保育機能と保育提供体制の充実を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	保育基盤の整備		老朽化した施設への支援
	空き枠の効果的な活用、企業主導型保育事業の周知・広報		
	認定こども園の整備・移行支援、幼稚園預かり保育事業への助成		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育基盤の整備：保育基盤が不足する地域において保育所等整備事業者の公募を行い、認可保育所5施設（定員300人分）、小規模保育事業6事業（定員93人分）を整備</li> <li>○空き枠の効果的な活用、企業主導型保育事業の周知・広報：以下の通り</li> <li>・保育ニーズの高い1歳児の受け入れ枠拡大のため、比較的余裕のある0歳児枠を1歳児枠に転用し児童を受け入れる際の補助事業（1歳児受入推進事業）を開始</li> <li>・新設保育施設等で定員に満たない5歳児保育室等を利用した期間限定保育を4施設で実施</li> <li>・空き枠の多い小規模保育事業の利用促進に向け、PR動画を制作・配信（太白区）</li> <li>・HPへの情報掲載による企業主導型保育事業の周知・広報</li> <li>○認定こども園の整備・移行支援、幼稚園預かり保育事業への助成：認定こども園1施設を整備し、幼稚園等から認定こども園へ31施設が移行した他、預かり保育事業を実施した幼稚園72施設及び認定こども園48施設（広域利用施設含む）に対し、事業に係る経費の一部補助を行った</li> </ul>		
評価の理由	公募による保育基盤の整備が概ね計画どおり進捗し、また、幼稚園等から認定こども園への移行が多数あったことにより、待機児童解消に向け十分な保育基盤の確保をすることができた。 1歳児受入推進事業や幼稚園預かり保育事業の実施、2歳児受入れ推進事業の拡充など、既存施設の有効活用の促進により保育機能と保育提供体制の充実を図ることができた。		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑤笑顔咲く子どもプロジェクト

#### ⑤子育て応援社会推進

目標	子育て家庭が安心して子どもたちを育てることができ、子どもたちも健やかに成長できる環境をつくるため、子どもの遊びの環境の充実や情報発信などに取り組みます。					
総括	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画通り進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	子育て情報に関するアプリの利用登録件数	—	2,000件 (令和5年度)	3,625件		
	子育て情報サイト・アプリで発信する、子育て応援の取り組みを行う民間施設などの数	—	800件 (令和5年度)	482件		

#### 102 子どもの遊びの環境充実事業

担当: 子供未来局

事業概要	令和2年度に実施した子どもの遊びの環境に関する調査・研究の結果を踏まえ、実証実験を行うなど、遊びの環境の充実を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実証実験などによる検証を通じた検討の実施		
進捗状況	△コロナ		
令和3年度の主な実績	○実証実験などによる検証を通じた検討の実施：時期、曜日、屋内・屋外などの複数の条件の下、都市公園などに一時的に遊具等を設置する実証実験の実施に向けて、事業者の公募を実施したが、その後、新型コロナウイルス感染症の状況により令和3年度の実証実験の実施は延期とした		
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の状況により、計4回の実証実験の実施を見送った。なお、事業・実証実験の性質上、代替措置を講じることが困難であった。		

### 103 子育てに関する情報発信充実事業

担当: 子供未来局

事業概要	子育て情報に関するポータルサイトとスマートフォン向けアプリケーションの運用や機能の拡充により、本市における子育てに関する情報を必要とする人に効果的に発信します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	子育て情報サイトなどの運用		
	コンテンツの充実・機能の拡充		
進捗状況	◎		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て情報サイトなどの運用：令和3年3月に開設した子育て情報サイト「せんだいのびすくナビ」の運用を継続し、アプリ版の利用登録件数は、令和2年度末の1,565件から3,625件に増加した</li> <li>○コンテンツの充実・機能の拡充：「せんだいのびすくサポーター」として登録のあった民間施設の情報を発信できるよう地図機能の拡充を実施し、併せて、「遊び場マップ」を新設した他、イベントの種類による絞り込み検索ができるよう、イベントカレンダー機能の拡充を実施した</li> </ul>		
評価の理由	子育て情報サイト「せんだいのびすくナビ」アプリの利用登録件数は目標を上回る成果があり、また、機能拡充についても進捗状況が良好だった。また、新設した「遊び場マップ」は、官民間問わず遊び場を見える化したもので、遊びの環境の充実に資する内容となっている。		

### 104 子ども・子育てを応援する各種プロジェクト展開事業

担当: 子供未来局

事業概要	子育て支援団体や地域団体、企業などの多様な主体間の連携のもと、子育てしやすいまちづくりを進める枠組みを構築し、地域社会全体で子ども・子育てを応援する機運の醸成を図るとともに、各種プロジェクトの企画・実施など、具体的な取り組みを展開します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	多様な主体間の連携スキームの検討	各種プロジェクトの実施	
		民間施設などの情報発信	
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な主体間の連携スキームの検討：子育て家庭にやさしい取組みや子どもの遊び場を提供し、子ども・子育てを応援する店舗や施設をそれぞれ「せんだいのびすくサポーター」の「おもてなし部門」「遊び場部門」とし、10月より募集を開始</li> <li>○民間施設などの情報発信：令和4年1月より「せんだいのびすくナビ」の地図機能により、「せんだいのびすくサポーター」の施設情報や取組内容の発信を開始（令和3年度末時点で482件の施設情報を発信）</li> </ul>		
評価の理由	「せんだいのびすくサポーター」として発信する民間施設数の目標値800件（令和5年度末）に対し、令和3年度の実績は482件であり、概ね順調に進捗した。引き続き「せんだいのびすくサポーター」への参画事業者数の増加を図る。		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑥ ライフデザインプロジェクト

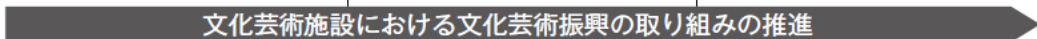

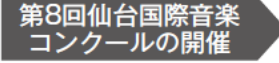
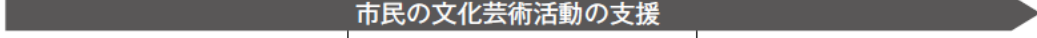
#### ① 多彩な学びと実践の環境づくり推進

目標	学びや体験の場を創出し、実践につながる環境をつくるため、音楽・舞台芸術・アート等の文化芸術に触れる機会をつくるとともに、仙台城跡の整備や電子図書館サービスの導入などに取り組みます。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値 目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	仙台市主催事業などでの調査による仙台市の文化芸術環境に対する満足度	—	60.0% (令和5年度)	61.9%	/	/
	仙台市・仙台市市民文化事業団主催事業(経常事業)における協働相手方数	434件 (令和元年度)	450件 (令和5年度)	496件	/	/
	ミュージアム連携に関するウェブサイト閲覧数	80,000件 (令和元年度)	基準値以上	54,415件	/	/
	仙台城本丸跡の来場者数	58万人 (平成30年度)	60万人 (令和5年度)	27.5万人	/	/
電子書籍のコンテンツ導入数	—	4,000タイトル (令和5年度)	3,322タイトル	/	/	



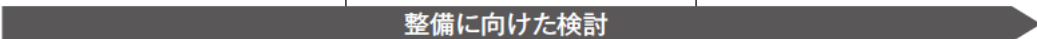
## 105 文化芸術によるまちの魅力づくり事業

担当:文化観光局

事業概要	文化芸術に親しめる機会や、創造性を育み発揮できる機会を充実させるとともに、楽都・劇都としての都市の魅力を高め、交流の拡大につなげます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	   		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<p>○文化芸術施設における文化芸術振興の取り組みの推進：日本芸術振興会からの助成を受け、「日立システムズホールパフォーマンスフェスティバル」ほか3事業（学校訪問ミニコンサートを除く）を実施</p> <p>○「楽都仙台」としての音楽文化の振興の推進：令和4年度に開催する第8回仙台国際音楽コンクールの関連事業として「街かどコンサートはばたけコンチェルト」などを実施し、機運醸成を行った他、2年ぶりとなる「仙台クラシックフェスティバル」を、3日間の日程で4施設10ホールを会場に開催</p> <p>また、仙台フィルハーモニー管弦楽団の演奏による「青少年のためのオーケストラ鑑賞会」の代替事業として「学校訪問ミニコンサート」を開催した（市立小学校67校）他、同団に対する支援及び仙台ジュニアオーケストラの運営を行った</p> <p>○市民の文化芸術活動の支援：（公財）仙台市市民文化事業団による支援や助成を通して、市民の文化・芸術活動を促進した（支援75件、助成101件、協力75件）</p> <p>一方、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた文化芸術団体等の活動を支援するため、「安全・安心な文化活動のための協働・支援事業」として、映像配信・編集などについて学べる専門家によるワークショップを開催した他、「持続可能な未来へ向けた文化芸術環境形成助成事業」（23件）、「多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業」（223件）を実施</p>		
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業もあったが、感染対策を講じ、または実施形態を変えるなどしながら、文化芸術の鑑賞、実演の機会を市民へ提供した。また、多くの市民・団体に対し、コロナ禍でのニーズに応じた文化芸術活動の支援を行った。		


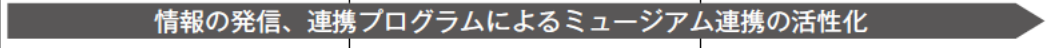
## 106 音楽ホール整備事業

担当:文化観光局

事業概要	音楽の都・楽都としての魅力をさらに高め、文化芸術振興の中核拠点となる音楽ホールの整備に向けて、新型コロナウイルス感染症による様々な影響を見極めつつ、幅広い市民、団体等の意見を伺いながら検討を進めます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○整備に向けた検討：令和4年2月、市長会見及び施政方針にて音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点との複合施設として青葉山交流広場に整備すること、及び令和4年度に基本構想の策定に着手することを表明した		
評価の理由	新型コロナウイルス感染症等の影響により検討に時間を要したが、年度内に立地場所及び複合整備について表明することができた。令和4年度は、基本構想検討委員会を設置するとともに市民意見を伺う機会を設け、基本構想の策定に向けた検討を進める。		


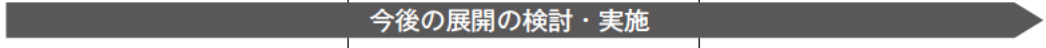
107 ミュージアム連携事業

担当:教育局

事業概要	多面的な学びの機会をつくるため、市内のミュージアム17館がネットワークを形成する仙台・宮城ミュージアムアライアンスにおいて、連携事業などに取り組むとともに、各館が持つ知識や手法を集積し、単独館では実施困難な事業を展開します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	 		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規事業の展開：感染症拡大防止対策を講じながら、令和2年度に中止した、複数館が一堂に会しミュージアムの魅力に触れることのできる「ミュージアムユニバース」を実施した他、オンラインシンポジウムも開催し、参加館でも様々な対応や工夫を行いながら事業を実施した</li> <li>○情報の発信、連携プログラムによるミュージアム連携の活性化：市政だよりでの参加館リレー連載による情報発信を行った他、各館共通テーマ「あな」で執筆し発行した冊子が、参加館だけでなく地域の研究者やクリエイターとの協働により制作され、市内小学校の授業や市民センター講座などで広く活用された</li> </ul>		
評価の理由	感染症拡大防止対策を講じて、昨今の状況に配慮した企画を実施し、市民への多面的な学びの機会を提供した。また、参加館同士の横断的なつながりを強めるため、参加館の人材データベース作成、各館のコロナ禍の対応についてメール研修を行うなど、今後のより一層の連携強化を図るための土台作りを継続して実施し、連携事業などを通して館や職員間のネットワークが構築された。今後もこれまで築いてきたミュージアムのプラットフォームを活かしつつ、感染症対策に配慮した新たな体験機会の提供を含む事業展開を検討・実行し、広報事業についても社会状況に配慮した情報発信の充実に努める。		

108 せんだい・アート・ノード・プロジェクト【再掲】

担当:教育局

事業概要	文化芸術に親しめる機会や、創造性を育み発揮できる機会を充実させるため、せんだいメディアテークを核に、現代アートの持つ発見性、吸引力、発信力を取り込みながらアートプロジェクトを展開し、まちの魅力と人々の活気を引き出します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	 		
進捗状況	◎		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○川俣正/仙台インプログレスの推進：平成29年度から新浜地区において、「みんなの船」、「みんなの木道」に続く「新浜タワー」を制作した他、これまでの制作プランを紹介する情報展示をせんだいメディアテークで開催</li> <li>○今後の展開の検討・実施：仙台の魅力を引き出し新たな価値を創造するアートプロジェクト実施のため、アーティストや地域関係者と連携しながら、今後の展開を検討した</li> </ul>		
評価の理由	川俣正/仙台インプログレスの館内情報展示では、多くの来館者へ事業の周知を行うことができた。オンライン企画「おうちで雑がみ部」の新たな立ち上げ及び普及啓発を目的とした冊子の作成、アーティストや文化人を招いて行うトークイベント企画では、オンライン配信をメインに実施し、感染症対策を行ったうえでのプロジェクトの新たな展開を模索しながら事業実施できた。プロジェクトを通し新規協働者を迎えることができたことから、今後の新たな展開が期待できる。		

## 109 仙台城跡整備推進事業【再掲】

担当:教育局

事業概要	歴史と趣を感じる城郭らしい景観と、来訪者が学びを楽しむことのできる環境を実現するため、城郭全体の景観を整備することで、歴史的な背景を踏まえた城郭内外からの眺望を実現します。また、発掘調査成果に基づく登城路整備を行うとともに、大手門の復元を目指し、関連する基礎調査と周辺部を含む範囲での発掘調査を実施します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	大手門復元関連基礎調査を含む各種調査の実施		
	植生調査、本丸縁辺地・東丸土塁の景観整備		
		東丸土塁の史跡整備	
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○各種調査の実施：登城路・東丸土塁・扇坂下発掘調査、大手門復元関連基礎調査（史資料調査・大手門周辺地形測量） ○景観整備：植生修景整備に向けた現況植生調査、危険木の伐採		
評価の理由	当初予定していた事業は、一部が震災の影響で遅れたものの概ね順調に進捗した。なお、令和4年3月の地震被害による復旧工事やそれに伴う発掘調査を実施するため、今後はスケジュールに変更が出る可能性がある。		

## 110 電子図書館サービス導入事業

担当:教育局

事業概要	新型コロナウイルス感染症をはじめとする不測の事態に柔軟に対応し、非来館型サービスの充実に取り組むため、小説や実用書、児童書などについて、インターネットを活用して貸出などに取り組むことで、読書環境の一層の整備を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	電子図書館サービス事業実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○電子図書館サービス事業実施：以下の通り ・「せんだい電子図書館」運用開始（11月） ・総資料数（コンテンツ数）3,322タイトル（令和4年3月末現在） ・利用実績（令和3年11月～令和4年3月） ログイン数：64,499回 貸出数：15,726回 予約数：9,246件		
評価の理由	導入月（11月）にはコンテンツ数2,758タイトルに対して、4,245回の貸出と3,540件の予約を受け、その後も順調にサービスを提供した。市民の多種多様なニーズに対応することを念頭に置きながら、資料を増やしつつ、仙台にゆかりのある作家の作品や東日本大震災関連本など、「仙台らしい」資料の選定を行った。また、テーマを設定した特集を組み、WEBサイトトップページにそれらを表示するなど、利用者の関心を高めるための工夫をした。		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑥ ライフデザインプロジェクト

#### ② 多様な主体の活躍推進

目標	一人ひとりが多様な生き方を選択し、能力を十分に発揮できる環境をつくるため、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、一人ひとりの状況に応じた就労や社会参加など活躍の機会をつくります。					
総括	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画通り進捗した。					
数値 目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	企業等を対象とした女性活躍推進に関するセミナー・出前講座等実施数	30回 (令和元年度)	合計90回 (令和3～5年度)	16回	/	/
	障害者福祉施設の利用者における一般就労への移行者数	280人 (令和元年度)	361人 (令和5年度)	327人	/	/
	障害者就労定着支援事業の利用者数	141人 (令和元年度)	253人 (令和5年度)	210人	/	/
	老人福祉センターの趣味の教室の平均利用人数	14.8人/回 (令和元年度)	15.0人/回 (令和5年度)	11.8人/回	/	/
	子ども参画型社会創造支援事業の参加者数	1,000人 (令和元年度)	1,000人 (令和5年度)	1,270人	/	/
学びのまち・仙台 市民カレッジ事業の参加者数	700人 (令和元年度)	700人 (令和5年度)	586人	/	/	

## 111 働く女性の活躍推進事業

担当: 市民局

事業概要	働く女性を対象としたセミナー・交流会の開催や、女性管理職・役員候補育成プログラムの実施などにより、働く女性のキャリアアップとネットワークづくりを支援するとともに、企業の経営者層や管理職を対象としたセミナー開催などを通じて、地元企業などにおける女性の活躍、女性の管理職登用を促進します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	女性活躍推進計画に基づく事業の実施		
進捗状況	△コロナ		
令和3年度の主な実績	<p>○女性活躍推進計画に基づく事業の実施：女性活躍を推進する企業などへの支援として、「企業の未来プロジェクト2021」を実施（20社参加）、主要コンテンツである「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム」女性管理職候補育成コースに各企業推薦の女性20人が参加した他、働く女性向け啓発事業として、仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム修了者のネットワーク「R a d i e r L a d y（レイレディ）」と協働で、ロールモデル紹介とテーブルトークを行う交流会を開催（39人参加）</p> <p>また、企業向け啓発事業として、有識者の基調講演と地域の先進企業の取り組み事例紹介を行う女性活躍推進セミナーの開催（133人参加）に加え、新たに企業の経営者向けに女性活躍推進に関する啓発動画の作成・配信、リーフレット配布を実施</p>		
評価の理由	<p>平成27年度から開始し、参加企業から高い評価を得ている「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム」を引き続き実施するとともに、修了生のネットワーク「R a d i e r L a d y」と協働事業を行い、修了生をロールモデルとしてセミナーなどに登壇させる「見える化」の取り組みにも力を入れてきた。また、企業の経営者層や管理職等に対する啓発も着実に進め、事業全体としては概ね順調に進捗してきた。</p> <p>一方で、コロナの影響により講師派遣・出前講座依頼が減少しており「企業等を対象とした女性活躍推進に関するセミナー・出前講座等実施数」は低調であったが、令和2年度年央から開始したオンライン開催の件数も増えてきており、引き続き企業などと連携しながら女性活躍推進に向けて取り組んでいく。</p>		

## 112 障害者就労支援体制整備事業

担当: 健康福祉局

事業概要	障害者が生きがいや働きがいのある生活を送ることができるよう、多様な就労の場の創出や就労支援に向けた普及啓発、就労支援ネットワークの推進などを通じて、障害者就労支援体制の充実を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	障害者就労支援センター事業の実施 障害者就労プロモート事業の実施 福祉的就労ステップアップ事業の実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<p>○障害者就労支援センター事業の実施：障害者就労支援センターへ障害者雇用に関する総合相談窓口を開設（相談対応14,683件）した他、障害者雇用マッチング強化事業として同センターに専任ジョブコーチを配置し、障害者雇用経験の少ない企業や支援力向上のため支援機関に対して個別訪問を実施（支援機関47か所、延177回）</p> <p>○障害者就労プロモート事業の実施：障害者雇用貢献事業者の表彰（6事業者）、障害者雇用促進セミナーの開催（オンライン・3回）</p> <p>○福祉的就労ステップアップ事業の実施：ふれあい製品の企画提案や営業活動に資する事業所向け研修会を実施（1回）、新たな販売機会として注文によりふれあい製品を職場に配達するふれあい製品デリバリーを開催（3回）、ふれあい製品フェアの開催（5回・延122施設参加）</p>		
評価の理由	<p>一般就労を目指す障害者や障害者雇用を目指す企業等へ個々に応じたきめ細やかな支援を行うことを通じて、障害者の就労に関する総合相談窓口としての役割を果たし、また、新型コロナウイルス感染拡大に対応したオンラインでの手法や宮城県と協働したセミナーを開催することなどを通じて、本市の障害者雇用の推進を図ることができた。</p>		



### 113 高齢者社会参加・生きがいつくり促進事業

担当:健康福祉局

事業概要	高齢者が知識や経験、能力を生かすとともに、知識や経験などの有無に関わらず元気に活躍し続けられるよう、多彩な学びの機会の提供や、高齢者への就労支援、ボランティア活動、地域活動などへの支援など、高齢者の生きがいつくりや社会参加の取り組みを進めます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	学習機会の提供		
	文化・スポーツ活動への支援		
	社会参加活動の推進		
進捗状況	△コロナ		
令和3年度の主な実績	<p>○学習機会の提供：豊齢学園令和3年度課程については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止したものの、誌上講座の送付を行うほか、SNSを新たに活用するなど、学習支援、情報発信に努めた</p> <p>老人福祉センターにおける趣味の教室について、延12,460名が参加、平均11.8人/回</p> <p>○文化・スポーツ活動への支援：高齢者生きがい健康祭、全国健康福祉祭への選手派遣について、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止</p> <p>○社会参加活動の推進：以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ団体数396団体、会員数16,603名（令和3年度末）</li> <li>・シルバー人材センター会員数2,705名（令和3年度末）</li> <li>・生涯現役促進事業相談件数565件（令和3年度）</li> <li>・敬老乗車証交付者数136,148名（令和2年10月～令和3年9月実績）</li> </ul>		
評価の理由	各活動の主な対象者が高齢者ということもあり、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の縮小・中止を余儀なくされたが、事業内容を変更できるものは感染症対策を徹底した上で代替事業を実施した。また、敬老乗車証などの事業については、コロナ禍においても一定の役割を果たしたところ。 令和4年度の各事業の実施に向け、他のイベントなどの開催状況・感染対策も参考にしながら、開催に向けた検討を進めていく。		

### 114 市民センターによる地域づくり支援事業

担当:教育局

事業概要	市民自ら地域課題に向き合い、住み良いまちづくりにともに取り組むことができるよう、地域に身近な社会教育施設である市民センターにおいて、地域の多様な活動を担う人材の育成、地域におけるネットワークづくり、学習情報・地域情報の提供などを行います。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	子ども参画型社会創造支援事業の実施		
	若者社会参画型学習推進事業の実施		
	住民参画・問題解決型学習推進事業の実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<p>○子ども参画型社会創造支援事業の実施：市内各市民センターで12事業実施（延1,270名が参加）</p> <p>○若者社会参画型学習推進事業の実施：各区中央市民センターで年間を通して実施（延685名が参加）</p> <p>○住民参画・問題解決型学習推進事業の実施：市内各市民センターで年間を通して24事業を実施（延2,155名が参加）</p> <p>○学びのまち・仙台市民カレッジ事業の実施：生涯学習支援センターで年間を通して5講座を実施（延586名が参加）</p>		
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響等を受けながらも、オンラインなどの手法も活用し、各市民センターにおいて多様な学習機会の創出や情報提供を実施し、市民の学びを支援することができた。引き続き、参加者の学習成果が地域などに還元され、より効果的に活用されるよう、事業を進めていく。		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑥ ライフデザインプロジェクト

#### ③ヘルスケア向上推進

目標	それぞれのライフステージに合わせた健康を支える環境をつくるため、介護予防活動や健康づくりの啓発・支援に取り組むとともに、ICT を活用した介護・医療・福祉分野の産業振興を推進します。					
総括	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画通り進捗した。					
数値 目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	介護予防関連事業の参加者数	26,090 人 (令和元年度)	28,000 人 (令和5年度)	13,793人	/	/
	介護予防に資する通いの場への参加率	8.4% (令和元年度)	10.0% (令和5年度)	— ※1	/	/
	メタボリックシンドローム該当者の割合	21.6% (令和元年度)	19.0% (令和5年度)	— ※2	/	/
	まちなか歩数表示助成団体数	8団体 (令和2年度)	20 団体 (令和5年度)	13団体	/	/
	眠れない人の割合	17.5% (令和元年度)	基準値以下	14.6%	/	/
	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人の割合	15.1% (令和元年度)	基準値以下	17.9%	/	/
	CareTech 製品開発支援件数	—	2件 (各年度)	2 件	/	/
	HealthTech製品開発支援件数	—	2件 (各年度)	2 件	/	/
	六郷地区における3歳7か月児健康診査における肥満の児の割合	6.7% (令和元年度)	4.0% (令和5年度)	8.9% (9月～令和4年3月)	/	/
六郷地区におけるメタボリックシンドローム該当者の割合	27.5% (令和元年度)	26.9% (令和5年度)	29.4% (暫定値)	/	/	

※1 国の照会に基づき各機関への照会を行うため、令和4年9月頃に判明する見込み。

※2 法定報告値が国から示される令和4年11月頃に判明する見込み。

115 一般介護予防推進事業

担当：健康福祉局、各区

<p>事業概要</p>	<p>65歳以上のすべての方を対象に、介護予防の普及啓発や健康への意識向上に取り組むとともに、地域で活動する介護予防に取り組む団体の活動支援を行うなど、地域のつながりを生かした介護予防の取り組みを推進します。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>介護予防把握事業の実施</p> <p>介護予防普及啓発事業の実施</p> <p>地域介護予防活動支援事業の実施</p> <p>地域リハビリテーション活動支援事業の実施</p>			
<p>進捗状況</p>	<p>△</p>	<p></p>	<p></p>
<p>令和3年度の主な実績</p>	<p>○介護予防把握事業の実施：一般発送者数29,938人、事業対象者把握数6,570人</p> <p>○介護予防普及啓発事業の実施：延11,271人参加                  (内訳) 介護予防月間イベント1,533人、包括主催介護予防教室9,612人、ノルディックウォーキング57人、介護予防栄養講座69人</p> <p>○地域介護予防活動支援事業の実施：延1,180人参加                  (内訳) 介護予防自主グループ支援事業養成講座等969人、シニア世代向け健康づくり講座211人</p> <p>○地域リハビリテーション活動支援事業の実施：延600人参加                  (内訳) 健康づくり応援事業402人、地域活動活性化支援事業168人、フレイル予防アウトリーチ支援事業(キャラバン) 30人</p> <p>その他介護予防関連事業：延742人参加                  (内訳) 健康遊具活用講座16人、介護予防プログラム強化事業726人</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、予定していた事業の中止や参加人数の制限などにより、当初の事業回数や参加者数を確保できなかった。また、集まること自体に消極的な様子もみられ、参加者数としてはコロナ禍前よりも下回っている。</p>		

116 市民健康づくり推進事業

担当：健康福祉局、各区

<p>事業概要</p>	<p>市民が生涯にわたって健康で生き生きと暮らすことができるよう、関係機関と連携し、市民が自然と健康づくりに取り組むための環境整備を強化するとともに、改正健康増進法による受動喫煙防止対策について、市民や事業所、飲食店などに対してさらなる周知を図ります。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>せんだい健康づくり推進会議開催</p>			
<p>日常生活活動量維持・向上のための事業の展開</p>			
<p>健診受診の啓発</p>			
<p>医療用ウイッグの助成</p>			
<p>受動喫煙防止対策の啓発</p>			
<p>進捗状況</p>	<p style="text-align: center;">○</p>		
<p>令和3年度の 主な実績</p>	<p>○せんだい健康づくり推進会議開催：コロナ禍のため未開催となったが、ウォーキングキャンペーン期間中に開設したWebサイト上に、会議関係団体から提供を受けた健康づくり情報を掲載                  ○日常生活活動量維持・向上のための事業の展開：「歩こう、動こう、脱メタボプロジェクト」としてウォーキングキャンペーン（690名参加）、オンラインセミナー、特設Webサイトにより健康情報を発信                  ○健診受診の啓発：市民健診受診率向上のための啓発グッズ作成（マスク6,300枚）                  ○医療用ウイッグの助成：助成件数269件                  ○受動喫煙防止対策の啓発：受動喫煙防止対策ポスターの作成（世界禁煙デー・禁煙週間PR含む）1,000枚、個別相談会の実施（9人受講）</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>「歩こう、動こう脱メタボプロジェクト」のウォーキングキャンペーンは、企画、事業実施時期など予定通りに進捗した。この事業でねらう年代、参加者数等も想定通りの結果であり、概ね順調に進んだ。また、健診受診の啓発、受動喫煙防止対策の啓発についても啓発媒体を計画通りに作成し、予定通りの時期に周知ができた。                  せんだい健康づくり推進会議については、働く世代の活動量の低下防止の課題について改めて共有し、実践レベルの内容を検討する必要がある。</p>		

### 117 被災者の健康支援事業

担当：健康福祉局、各区

事業概要	復興公営住宅への入居や防災集団移転により生活再建した被災者に生じている、閉じこもりやそれによる身体活動量の低下、心の健康状態の悪化などの健康問題や被災者の高齢化による問題に対して、個別支援や健康講座などによるコミュニティ形成支援を通じて健康の維持を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	健康調査の実施		
	訪問による健康支援		
	健康相談事業の実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康調査の実施：12月～令和4年1月に実施（回収率は復興公営住宅が43.9%、防災集団移転団地が44.3%）</li> <li>○訪問による健康支援：延3,171件</li> <li>○健康相談事業の実施：宮城野区、若林区のスーパーマーケットで実施（宮城野区1箇所、若林区2箇所、延160人利用）</li> <li>○健康を切り口としたコミュニティ形成支援：健康講座・健康相談会102回開催、延1,091人参加</li> </ul>		
評価の理由	令和3年度より、本市単独で被災者健康調査を実施した。被災者の個別支援や被災者全体の健康課題の把握、課題解決のための事業を検討する上で有益であった。この結果を踏まえ、被災者健康支援関係課と今後の支援の方向性を検討していく。		

### 118 ウェルビーイング産業振興事業

担当：経済局

事業概要	健康福祉など生活をより良くする産業であるウェルビーイング産業を振興し、地元中小企業に多くの事業機会を創出します。また、介護業界とICT業界の融合によるCare Tech産業振興、医療業界とICT業界の融合によるHealth Tech産業振興に取り組み、新産業創造、雇用創出を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	CareTech産業振興の推進		
	HealthTech産業振興の推進と人材育成		
	EU・アセアンとの輸出入の支援		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○CareTech産業振興の推進：製品開発支援を2件実施</li> <li>○HealthTech産業振興の推進と人材育成：製品開発支援を2件実施した他、新たなビジネスアイデアの創出支援を5件行った</li> <li>○EU・アセアンとの輸出入の支援：タイでビジネスを行う上でのノウハウなどに関するセミナーを4回開催した他、仙台市輸出入チャレンジ支援助成金を通して、オンライン海外展示会への出展などの支援を行った</li> </ul>		
評価の理由	コロナの影響により対面での活動が制限されたものの、オンラインを活用して各種取り組みを図ることで、事業は概ね順調に進捗した。Care Tech産業振興及びHealth Tech産業振興に関しては、関係機関の連携を促進し、製品開発支援等を図る。EU・アセアンとの輸出入支援に関しては、コロナ後を見据え、引き続き海外展開に向けた機運の醸成を図る。		



119 六郷地区の健康づくり推進事業

担当:若林区

<p>事業概要</p>	<p>六郷地区において、地区組織や地域の活動団体、大学などの関係機関との連携を強化・拡充し、地域協働のもと、豊かな自然によって育まれてきた魅力や地域資源、生活文化などを生かした体験型の健康づくりや啓発を実施します。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>地区組織や関係機関と連携した啓発・講話の実施</p>			
<p>イベントを活用した体験型の啓発、調理実習の開催</p>			
<p>ワークショップなどの実施</p>	<p>ワークショップなどの実施</p>	<p>ワークショップなどの実施</p>	
<p>進捗状況</p>	<p style="text-align: center;">△</p>		
<p>令和3年度の主な実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区組織や関係機関と連携した啓発・講話の実施：地元スーパーマーケットで健康的なレシピや総菜の組み合わせの紹介、小中学校での生活習慣病予防の健康教育、六郷健康通信の配布（3回）などを実施</li> <li>○イベントを活用した体験型の啓発、調理実習の開催：地域団体や学生との六郷健康レシピの作成、尿中ナトリウムカリウム比測定・食生活の振り返りを行った他、子育て関係機関に幼児の健康課題に関するポスターとチラシを配布、イベントを利用した健康に関するアンケートを実施</li> <li>○ワークショップなどの実施：市民センターと共催で子育て関係機関とのワークショップを実施</li> </ul>		
<p>評価の理由</p>	<p>調理実習を予定していたが、コロナ禍により実施できなかった。 六郷健康レシピを作成し、せんだいTubeで紹介するなど、啓発の仕方を工夫した。 啓発の内容によっては地域にどれだけ広まっているかが分かりにくいものもあり、短期間での効果測定が難しいものもあることから、その都度アンケートを行うなど振り返りを行っていく。</p>		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑦ TOHOKU未来プロジェクト

#### ① ローカルイノベーション推進

目標	仙台・東北からイノベーションを生み出すため、近未来技術の活用や上場を目指す中小企業の支援、オープンイノベーションによる新規事業の創出支援や次世代放射光施設の活用によるリサーチコンプレックスの形成促進などに取り組みます。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	近未来技術に関する実証実験の延べ件数	23 件 (令和元年度)	55 件 (令和5年度)	37件	/	/
	仙台「四方よし」企業大賞制度における大賞・優秀賞・宣言企業の合計数	17 社 (令和元年度)	37 社 (令和5年度)	39社	/	/
	仙台未来創造企業創出プログラムによる延べ認定企業数	10 社 (令和2年度)	15 社 (令和5年度)	12社	/	/
	成長産業振興事業を通じた新たな製品・サービスの開発件数	32 件 (令和元年度)	合計54 件 (令和3～5年度)	45件	/	/
	次世代放射光施設有力分野における先行取組事例創出件数	12 件 (令和元～2年度)	合計38 件 (令和3～5年度)	10件	/	/
誘致による進出企業数	平均27 件/年 (平成27～令和元年度)	合計100件 (令和3～5年度)	18件	/	/	

#### 120 国家戦略特区推進事業

担当: まちづくり政策局

事業概要	国家戦略特区の枠組みも活用しながら、ドローンや自動走行など近未来技術を活用する可能性を探るため、民間企業などとの連携のもと実証実験を行います。また、仙台市近未来技術実証ワンストップセンターにおける民間企業などへの支援を通じ、さらなる近未来技術実証の取り組みの促進を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	各種実証実験等の実施		
進捗状況	○	/	/
令和3年度の主な実績	○各種実証実験等の実施：ドローン教習所開設実証やドローンによる遭難者捜索支援実証など、近未来技術の活用に係る多岐にわたる実証実験を実施 (ドローン教習所開設1回、ドローン運行管理システム実証1回、仮想環境における電波模擬システム研究開発1回、ドローンによる遭難者捜索支援サービス1回)		
評価の理由	民間企業や大学などとの連携のもと実証実験を行い、近未来技術実証の取り組みを推進してきた。令和3年度までの実証実験の延べ件数は37件と順調に推移している。		

## 121 経済産業政策推進事業

担当: 経済局

事業概要	地域経済の持続的発展のため、仙台市中小企業活性化条例に基づき、中小企業の活性化に向けた施策を検討・実施するとともに、地域経済を牽引する地元中小企業への集中支援や、社会的課題解決・魅力的な職場環境づくりに取り組む地元中小企業の表彰・紹介など、地域経済の成長に資する各種取り組みを実施します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	仙台市中小企業活性化会議による施策の検討の実施		
	仙台「四方よし」企業大賞制度の実施		
	仙台未来創造企業創出プログラムの実施		
進捗状況	◎		
令和3年度の主な実績	<p>○仙台市中小企業活性化会議による施策の検討の実施：会議を3回開催し、感染拡大状況を踏まえた支援策や本市経済施策の方向性などについて検討を行った</p> <p>○仙台「四方よし」企業大賞制度の実施：コロナの影響で大賞表彰は令和4年度に延期したものの、宣言企業を通年で募集し、計26社の登録に至った（令和3年度末時点で、仙台「四方よし」企業大賞制度における大賞・優秀賞の数と合わせ計39社）</p> <p>○仙台未来創造企業創出プログラムの実施：新たに2社を未来創造企業として認定、上場を目指す地元中小企業に対して集中的な支援を行った</p>		
評価の理由	仙台「四方よし」企業大賞制度については、コロナの影響で大賞表彰ができなかったものの、宣言企業には定期的な登録があり、目標を大幅に上回る実績となっている。また、仙台未来創造企業創出プログラムについても、支援した企業が上場するなど、順調に進捗した。		

## 122 成長産業振興事業【再掲】

担当: 経済局

事業概要	産学官金連携の枠組みを活用し、AI やIoT、ロボットなどの先端技術と、今後市場の拡大が見込まれる健康福祉、農林水産業、防災分野などとの融合による新事業創出を推進するとともに、ICT産業の振興や高度ICT人材の育成・確保に取り組み、地域経済の活性化を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	次世代X-TECHビジネス創出促進事業の実施		
	BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業の実施		
	東北大学IIS研究センター運営支援の実施		
	ICT人材確保・育成支援事業の実施		
進捗状況	◎		
令和3年度の主な実績	<p>○次世代X-TECHビジネス創出促進事業：AIビジネス創出、AI人材育成などのプログラムを一体的に実施。本事業を通じた製品・サービス開発件数：15件</p> <p>○BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業：国内外の企業が参加する事業開発プログラム、実証実験支援等を実施。本事業を通じた製品・サービス開発件数：15件</p> <p>○IIS研究センター運営支援の実施等を通じた製品・サービスの開発件数：5件</p> <p>○ICT人材確保・育成支援事業：本事業を通じた製品・サービスの開発件数：10件</p>		
評価の理由	産学官連携の枠組みを活用するとともに、地域の業界団体・経済団体とも連携して効果的に各事業を実施し、概ね事業は順調に推移した。次世代X-TECHビジネス創出促進事業では事業者の経営層の巻き込み、BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業ではプラットフォームを設立したことで、各事業で事業者の継続的な参画が図られている。さらなる成長に向けた支援を継続するほか、取り組みの基盤となるICT人材育成・確保の強化を進める。		

## 123 次世代放射光施設関連産業振興事業

担当: 経済局

事業概要	仙台・東北の産業のイノベーションや付加価値を創出し、地域経済への波及効果を最大限に生み出すため、次世代放射光施設整備への支援を行うとともに、当該施設を中核として研究開発拠点や関連企業の立地・集積の促進を図ります。また、仙台・東北の企業による利活用促進に向けた普及啓発を進めます。		
年次計画	令和3年度 先行取り組み事例創出事業の実施（トライアルユース） 企業立地支援策の策定	令和4年度 仙台市保有施設利用権活用スキームの検討 企業誘致プロモーションの推進	令和5年度 普及啓発の実施 仙台市保有施設利用権活用の普及啓発
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○先行取り組み事例創出事業の実施（トライアルユース）、普及啓発の実施：トライアルユース事業の委託事業者を選定する公募を実施（5月）、12事業者より応募があり、審査会を経て10事業者を選定した他、令和2年度トライアルユース採択事業者の事例報告会を10月にオンラインで実施 ○仙台市保有施設利用権活用スキームの検討：東北経済産業局主催の放射光施設利活用促進のための検討会・WGに参加するなど、東北各県の公設試・中小企業などの意見の情報収集を行った ○企業立地支援策の策定：リサーチコンプレックス形成推進業務を通じて、大企業や研究機関などを対象に調査を行い、立地支援策の検討を行った		
評価の理由	先行取り組み事例創出事業は、予定創出件数の通り採択をしており、着実に事例件数を積み上げている。仙台市保有施設利用権活用スキームは、検討会・WGに参加するなど、東北各県の公設試・中小企業などの関係者から情報収集を実施した。企業立地支援策については素案をまとめることができたため、今後、具体的な支援策策定について検討を進める。		

## 124 企業立地促進事業

担当: 経済局

事業概要	地域経済への波及効果が高い企業などの誘致を進めるため、仙台市の優れた立地環境や各種支援策の情報提供、自然災害や感染症拡大におけるリスク分散などのBCPの観点を示しながら、企業訪問などを実施します。また、企業の仙台市への新規投資を促進するため、事業所の設置や設備更新などを行う企業に対して、助成金を交付します。		
年次計画	令和3年度 企業誘致プロモーションの推進 企業立地促進助成の実施	令和4年度	令和5年度
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○企業誘致プロモーションの推進：域外企業との意見交換、PRを125件実施 ○企業立地促進助成の実施：新規指定件数18件		
評価の理由	コロナ禍におけるテレワーク普及によってICT関連企業の立地が減少しており、他の業種の進出も少なかったものの、蒲生北部地区での新規立地や東北大学との連携による研究開発拠点の新設、地方拠点強化税制のメリットを活用した本社機能の移転などが進んだ。		

# チャレンジプロジェクト 自己評価シート

## ⑦ TOHOKU未来プロジェクト

### ② 起業支援

目標	東北を舞台にソーシャル・イノベーションを生み出すため、地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出や社会起業家の育成に取り組むとともに、起業の裾野のさらなる拡大と事業継続率向上に向けた支援を実施します。					
総括	事業は着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	アシ☆スタの支援により開業した事業所の開業3年後の事業継続率	87.6% (令和元年度)	70.0% (令和5年度)	82.0% (令和4年5月時点)		

### 125 起業支援事業

担当: 経済局

事業概要	仙台・東北の人々が経済的・精神的豊かさを実感できる未来を目指し、地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出や、社会的課題に対して持続可能な解決策に挑戦する社会起業家の育成に重点的に取り組むとともに、起業の裾野の拡大と起業後のフォローアップを行います。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東北の地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出：集中支援プログラム「東北グロースアクセラレーター」を通じて20者のスタートアップ企業を採択し、約6か月間の集中支援を実施した他、過年度採択者のフォローアップ支援を実施し、令和3年度資金調達実績は6億円超となった</li> <li>○社会起業家の育成：集中支援プログラム「東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーター」を通じて13名の社会起業家を採択し、約6か月間の集中支援を実施</li> <li>○起業の裾野のさらなる拡大：仙台市起業支援センター「アシ☆スタ」を通じて、1,838件の起業相談対応を実施し、119件の開業を支援</li> </ul>		
評価の理由	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施形態をオンライン中心にするなどし、各事業を実施。首都などへのプロモーションやビジネスマッチング機会提供などは引き続き影響があるものの、事業は概ね順調に進捗した。</p> <p>東北グロースアクセラレーター、東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーター、アシ☆スタなどの採択者・支援先企業に対してフォローアップ支援を強化し、事業の安定化、さらなる成長に向けた支援を行う他、スタートアップ・エコシステムの発展に向けた産学官金の連携強化を進める。</p>		



## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑦ TOHOKU未来プロジェクト

#### ③ 地域経済循環促進

目標	地域経済の循環と産業の持続的な成長を支えるため、中小企業による新規事業の創出や人材育成などを支援するとともに、経営基盤の強化や多様な人材の確保などの各種支援を実施します。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	地域商社機能を通じた商品・サービスの売上高	—	合計85,000千円 (令和2～5年度)	19,175千円	/	/
	企業間連携による中小企業の課題解決事業により支援した事業の売上高とマッチングにより発生した取引額の合計	—	合計80,000千円 (令和3～5年度)	12,790千円	/	/
	女性の有業率(15歳以上人口のうち就業している者の割合)	51.8% (平成29年度)	55.0% (令和5年度)	— ※	/	/
	大学生などの地元定着率	42.2% (令和元年度)	50.0% (令和5年度)	42.5%	/	/
	中小企業経営基盤強化事業による相談件数	600件 (令和2年度)	700件 (令和5年度)	950件	/	/
中小企業経営基盤強化事業によるバイヤーとのマッチング件数	200件 (令和2年度)	250件 (令和5年度)	368件	/	/	

※令和4年度就業構造基本調査結果(令和5年7月以降公表予定)に基づき算出予定。

126 地元企業成長促進事業

担当:経済局

事業概要	地元企業の成長を促すため、成長・拡大を志向する中小企業をターゲットとして、人材の育成や新規事業の創出支援、業務の効率化、商品企画から販路開拓までの一連の支援などを通じた稼ぐ力の醸成などの各種支援を実施します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域商社事業の実施：地域商社事業者と連携し、地域ブランド参画事業者を対象としたセミナー開催、個別商品磨き上げ支援、ECサイトや実店舗による販売支援などを実施（令和5年度までの売上高合計85,000千円の目標に対して、令和3年度は25,000千円の売上を計画し、19,175千円の実績であった）</li> <li>○企業間連携事業の実施：中小企業の課題解決のため、企業間でのマッチング支援や首都圏展示会への出展を行った</li> <li>○自走化に向けた検討・実施：地域商社事業では、事業者を中心に自走化を見据えたECサイトの構築及び運営、実店舗を活用した販売拡大に取り組み、一定の売上を達成した他、企業間連携事業については、事業で構築したプラットフォームを、産業振興事業団にて地元事業者の販路開拓支援などに活用するよう調整した。</li> </ul>		
評価の理由	<p>地域商社事業については、新型コロナウイルスの影響を受け、2年連続で首都圏での域外販売会が開催できなかつた他、事業者同士の情報交換やマッチングにつながる交流の場が設けられず、販路開拓や商品開発などが予定通り進まなかつた部分もあつたが、新たな地域商社事業者との連携により域内実店舗販売を強化したことで、平時に比べ来客数が少ない中でも一定の売上を達成した。</p> <p>企業間連携事業については、首都圏展示会への出展による販路開拓支援を実施し、年度目標値を達成できた他、構築したプラットフォームを産業振興事業団にて活用することで自走化の目途があつた。</p>		

127 人材確保定着・雇用対策事業

担当:経済局

事業概要	地元中小企業や地元就職などの魅力を効果的に発信し、若者などの地元定着・UIJターン就職を促進し、中小企業の多様な人材の確保を支援します。また、雇用のミスマッチ解消と職場定着を図るため、若者などと地元企業をマッチングさせる各種就業支援施策を実施します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若者の地元定着の促進：「仙台で働きたい！」プロジェクト合同企業説明会（54社・学生113人参加）、奨学金返還支援事業（協力企業172社・認定学生120人）、高校生向け職業体験イベント（企業12社・生徒528人参加）を実施</li> <li>○高度人材などのUIJターンの促進：首都圏大学合同ワークショップを実施（2社・学生20人参加）</li> <li>○事業者向けの雇用支援・雇用対策：採用コンサルティングを実施（16社・42回）</li> <li>○多様な人材が活躍できる環境の構築：海外高度人材マッチングを実施（11回・431人）</li> </ul>		
評価の理由	<p>コロナ禍の状況を踏まえ、求人・求職のマッチングなどの事業を対面とオンラインを使い分けて実施した。事業は概ね順調に進捗したもの、求職者側の情報収集手段も多様化する中、対象者に各種事業の周知を図り利用を促進するための集客が課題となっている。</p> <p>今後はターゲットに応じた広報及び事業の有用性や地元企業の魅力を伝えるための情報発信について、教育機関や行政機関との連携を一層強化するなど改善に取り組む。</p>		

128 中小企業経営基盤強化事業

担当:経済局

<p>事業概要</p>	<p>中小企業の経営安定化と強化、生産性向上などに向けて、中小企業の課題解決や経営革新の支援を行うとともに、事業承継、事業継続力強化といった組織制度に関する課題に対しても支援を実施します。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>
<p>令和3年度の主な実績</p>	<p>○総合相談：産業振興事業団にて、中小企業者が抱える経営課題の解決につながる窓口相談を実施                  ○事業承継支援事業：事業承継を行うにあたり、現状や課題を「見える化」し、円滑な承継を促進することを目的に企業価値診断を実施（目標12社に対し6社参加）                  ○BCP・事業継続力強化計画の策定支援：仙台商工会議所と共催で、「事業継続力強化計画セミナー」を保険会社協力のもと実施（目標60名に対し34名が参加）</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>コロナの影響もあり、窓口の相談件数が増加し、経営が逼迫する中小企業者等の経営課題の解決や、生産性向上等に向けた取り組みの相談などに応じ、中小企業の事業の継続や発展に資することができた。                  事業は概ね順調に進捗したものの、事業承継やBCP策定支援などに係るセミナーにおいては、目標参加者数には届かなかった。                  事業承継についてはこれまで「親族承継」を主に取り組んできたが、相談が増加している「第三者承継」支援にも取り組み、事業者のニーズに沿った事業の展開を図る。また、BCP・事業継続力強化計画の策定支援については、新たに机上訓練体験や申請時の不備実例に触れることで内容を拡充させる他、令和4年度から対象が拡大された「地域産業応援金」をPRしていく。</p>		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑦ TOHOKU未来プロジェクト

#### ④ 農業振興

目標	農業を活性化し、経済の地域内循環に向けた地産地消を進めるため、6次産業化や農商工の連携を推進するとともに、多様な担い手への支援や農地の集積・集約、農地の大区画化を主体とした基盤整備を推進します。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	農食ビジネス支援事業による新商品開発件数	—	3件 (各年度)	2件	/	/
	農地集積・集約化による農地利用集積率	43% (令和元年度)	68% (令和5年度)	48%	/	/
	大倉日向地区：ほ場整備大区画化工事面積率	—	100% (令和5年度)	80%	/	/
	倉内・大針地区：ほ場整備大区画化工事面積率	—	50% (令和5年度)	— ※1	/	/
秋保野尻地区：ほ場整備大区画化工事面積率	—	5% (令和5年度)	— ※2	/	/	

※1 令和4年度の着工を予定。

※2 令和5年度の着工を予定。

129 農食ビジネス支援事業

担当:経済局

<p>事業概要</p>	<p>6次産業化や農商工連携の拠点となる施設を活用しつつ、新たな取り組みへのチャレンジを支援するほか、様々な主体の取り組みを一体的に情報発信することで、仙台産農産物の地産地消の機会の創出を図ります。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>6次産業化や農商工連携などの新たな取り組みに対する支援</p>			
<p>SNSなどを活用した情報発信と地産地消の機会創出</p>			
<p>せんだい農業園芸センターの活用</p>			
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>
<p>令和3年度の 主な実績</p>	<p>○6次産業化や農商工連携などの新たな取り組みに対する支援：農業者及び商工事業者などからの相談に応じ、専門家派遣による新商品開発及び販売戦略に関する助言などの支援を行った（およそ10事業者、専門家派遣3件） ○SNSなどを活用した情報発信と地産地消の機会創出：7月に公式Instagramを開設、8月に公式ウェブサイトを開設し、生産者取材、仙台産農産物を使用したレシピ、直売イベントや販売店などを随時掲載し、地産地消に関する情報発信を行った ○せんだい農業園芸センターの活用：民間の運営事業者への補助などを通じて、収益性の高い農業経営や栽培方法等に関する各種研修、ICTを活用した施設園芸設備の展示・視察受け入れを行った他、せんだい収穫まつりをはじめとした農や自然に親しむ様々なイベントを実施</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、新たな取り組みに踏み出しにくい状況もあるが、新商品開発には至らなかったが、令和4年度は現在事業化に向けて取り組んでいる農業者等への支援を継続するとともに、集落営農組織等を対象として専門家による御用聞きを行うなど、新たな取り組みの掘り起こしと支援ニーズの把握を引き続き進めていく。 SNSなどを活用した情報発信は、概ね計画通り進捗している。仙台産農産物の情報を広く発信するイベントを開催し、より多くの消費者に届く情報発信を実現する。 せんだい農業園芸センターの活用は、感染防止対策のうえ研修や展示、イベント等を概ね計画通り実施し、市民が農と触れ合う拠点施設として例年並みの来園者約30万人を達成した。</p>		



130 農業経営体育成支援事業

担当:経済局

<p>事業概要</p>	<p>「仙台市地域農業基盤強化プラン」により、担い手や地域の将来のあり方を明確化し、認定農業者、新規就農者、女性農業者、農業法人など多様な担い手の支援を行います。また、農地中間管理事業などを活用した担い手への農地の集積・集約化や、収益性の高い水田農業の確立と農業経営の安定、生産力の強化を図ります。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>多様な農業経営体の育成・確保に向けた取り組み</p>			
<p>仙台市地域農業基盤強化プランの更新支援</p>			
<p>農地の集積・集約の推進</p>			
<p>転作の推進</p>			
<p>農林漁業振興資金等利子補給助成の実施</p>			
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>
<p>令和3年度の 主な実績</p>	<p>○多様な農業経営体の育成・確保に向けた取り組み：認定農業者240経営体（うち国・県認定17経営体） ○仙台市地域農業基盤強化プランの更新支援：2回更新が3地区、1回更新が2地区 ○農地の集積・集約の推進：47.6%（中心経営体含む） ○転作の推進：非主食用米作付面積385ha、集団転作用機械導入助成1件・3,563,000円 ○農林漁業振興資金等利子補給助成の実施：16件・256,722円</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>高齢化などに伴う農業者数の減少対策として、新たな担い手の育成・確保や優れた経営感覚を有する農業経営者を育成するため、研修会（ゼミ）の開催や、農業用機械・施設の導入支援など、経営力強化に向けた取り組みを行った。 また、農地利用集積率のさらなる向上を目指し、農業者に対して農地の賃貸借を行う農地中間管理事業の情報を広く発信し、担い手への農地集積を進めることができた。</p>		

131 農業生産基盤整備事業

担当: 経済局

事業概要	農地の集積・集約化を促進し、経営規模の拡大・経営合理化による収益性の高い農業の実現・経営の安定化に資するため、農地の大区画化を主体とした基盤整備を推進します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	大倉日向地区：大区画化工事 倉内・大針地区：設計などの実施	大倉日向地区：付帯工事・換地処分などの実施 倉内・大針地区：大区画化工事	秋保野尻地区：大区画化工事
	秋保野尻地区：事業採択に向けた計画・調整		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大倉日向地区 大区画化工事：冬季の天候不良により工事がやや遅れたが、令和4年5月末に完了予定。</li> <li>○倉内・大針地区 設計などの実施：令和4年度以降の工事に向け設計を行い、工事スケジュールなどの説明会を実施</li> <li>○秋保野尻地区 事業採択に向けた計画・調整：事業採択に向け、地権者への説明会やアンケートを行い、関係機関との調整を実施</li> </ul>		
評価の理由	大倉日向地区は、大区画化工事が一部遅れを生じているが、概ね計画通りに進捗している他、倉内大針地区はスケジュール通り進捗している。秋保野尻地区は、一部の地権者の理解が得られず当初予定の事業面積を減ずることとなったが、事業自体は進捗している。今後も、3地区の関係機関との調整、協議などを行いながら事業の進捗を図る。		

132 先端技術を活用した宮城地区の課題解決事業【再掲】

担当: 青葉区宮城総合支所

事業概要	少子高齢化や人口減少に起因する地域課題が山積する宮城地区西部において、「先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決計画」に基づき、ICTなどの先進的な技術によって様々な地域課題の解決に取り組みます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	地域課題検討会議の開催 意見交換・事業の実施についての合意形成		
	「先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決計画」に掲げる事業の推進		今後の展開の検討・実施
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域課題検討会議の開催 意見交換・事業の実施についての合意形成：4回開催</li> <li>○「先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決計画」に掲げる事業の推進：計画に掲げる8事業のうち6事業を実施（残りの2事業についても、情報収集に努めるとともに、地域課題検討会議の中でも意見交換を行った）</li> </ul>		
評価の理由	地域の方々と協議を重ねながら、地域課題解決に向けた取り組みを推進することができた。		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑦ TOHOKU未来プロジェクト

#### ⑤ 仙台・東北交流人口拡大

目標	仙台・東北の魅力を国内外に広め、世界中から人を惹きつけるため、地域の魅力の発信や受入環境の整備を行うとともに、東北の各自治体と連携した誘客・周遊促進に取り組みます。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	東北観光推進事業による東北の延べ連携自治体数	75 自治体 (令和元年度)	110 自治体 (令和5年度)	91自治体		
	仙台市内の宿泊者数	624 万人 (令和元年)	624 万人 (令和5年)	363万人 (令和3年)		
	仙台市内の外国人宿泊者数	33.5 万人 (令和元年)	25.0 万人 (令和5年)	1.8万人 (令和3年)		
仙台市内におけるコンベンション開催件数	671 件 (令和元年)	合計1,340 件 (令和3～5年)	134件 (令和3年)			

#### 133 東北観光推進事業

担当:文化観光局

事業概要	東北全体の持続的な発展に寄与するため、東北の各自治体などとの連携を強化しながら、東北への誘客と周遊促進に取り組みます。また、東北が有する多様な観光コンテンツ等の魅力を国内外に発信することにより、交流人口の拡大や地域の活性化を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	東北の魅力発信拠点を活用した情報発信		
	東北絆まつりの開催・六市連携による国内外へのプロモーション		
	デジタルで人と地域をつなぐオンライン観光の推進による関係人口の拡大		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東北の魅力発信拠点を活用した情報発信：勾当台公園に整備した東北の食材を活用するカフェ・レストラン「Route 227s' Cafe TOHOKU」において、計7回の自治体フェアなどを通じ東北の魅力発信を行った</li> <li>○国内外へのプロモーション：東北六市のネットワークを活用した取り組みとして、「東北絆まつり」を5月に山形市で開催、コロナの影響から縮小開催となったが、約8,600人の来場者に六市の夏祭りをPR、東北の復興を発信した</li> <li>○関係人口の拡大：オンライン観光等推進事業において、オンラインツアー21企画、関連するバスツアー6企画を実施した（合計約1,400名が参加）</li> <li>○東北への誘客と周遊促進：東北周遊ルートの設定や周遊観光の促進を図るとともに、東北六県や東北観光推進機構と連携し、域内の二次交通に関する情報集約とプラットフォームの構築を進めた他、東北34都市42か所の観光案内所が連携し、「東北の観光案内所のネットワーク化」を進めるなど、東北への観光客の受入環境整備や周遊促進を図った</li> </ul>		
評価の理由	各事業を通じ、東北の延べ連携自治体数が目標達成に向け順調に増加した。		

### 134 観光客誘致宣伝事業

担当:文化観光局

事業概要	観光やビジネスなど様々な目的で仙台市を訪れる方々に対して、効果的に仙台の魅力を発信することができるよう、SNSやウェブサイトによる効果的な情報発信など、多様な顧客ニーズに応じたプロモーションを推進します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内プロモーションの推進：新たに、高い知名度を誇るサンドウィッチマンを観光アンバサダーに委嘱した他、伊達武将隊などを活用した誘致宣伝を実施し、さらなるPR強化を行った</li> <li>また、観光需要を喚起するため宿泊促進キャンペーンを実施し、宿泊施設をはじめとした観光関連事業者の支援を行った</li> <li>○デジタルマーケティングによる効果的な誘致宣伝の実施：変化するニーズや動向を的確に把握し、効果的なプロモーションを行うため、本市観光サイトのアクセス解析や来仙者の滞在データ調査を実施し、結果の蓄積・分析を行った</li> </ul>		
評価の理由	事業は概ね順調に進捗した。新型コロナウイルス感染症の影響による制限がある中、実施できなかった事業もあるが、デジタルマーケティングや新たな観光アンバサダー委嘱など、今後を見据えた事業が実施できた。また、宿泊促進キャンペーンは延べ3万7千人の利用があり、観光需要の喚起につなげることができた。		

### 135 インバウンド推進事業

担当:文化観光局

事業概要	仙台・東北の観光の魅力を海外に発信するとともに、外国人観光客の受入環境整備や外国人に訴求する観光コンテンツの発掘・磨き上げを行うことで観光地としての魅力を一層向上させ、海外から仙台・東北へのさらなる誘客を促進し、地域経済の活性化を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○戦略的プロモーションの実施：インバウンド誘客の重点市場と位置づける台湾・タイを中心に、旅行博への出展や旅行会社・メディアなどの招請事業、現地消費者向けオンラインセミナーを実施した他、航空会社などとの連携を図りながら、Web・SNSで情報発信などを行った</li> <li>○受入環境の充実：ベジタリアン・ヴィーガン・ムスリムの受入環境整備を実施した他、デジタルマーケティング推進に向けた外国語観光ウェブサイト「Discover Sendai」の改修を行った</li> <li>また、観光スポットの案内板に多言語のWebに誘導するQRコードを設置するとともに、市内事業者を対象に外国人観光客対応力向上セミナーをオンラインで実施</li> <li>○観光コンテンツの発掘・磨き上げ：ヘルスツーリズムコンテンツの発掘・磨き上げを実施した他、訪日富裕層の誘客促進を目的に、旅行会社などの招請による東北の富裕層向けコンテンツの認知度向上に取り組んだ</li> </ul>		
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度においても外国人観光客の受入が停止となったため、外国人宿泊者数は達成率7.3%と大幅に落ち込んだ一方、インバウンド再開に向けた取り組みについて、コロナ禍でも可能な形で事業を実施し、概ね予定通りに進捗した。		

136 MICE推進事業

担当:文化観光局

<p>事業概要</p>	<p>仙台市のグローバルMICE都市としての魅力について情報発信を行いながら、コンベンションや企業系会議などをターゲットとした誘致セールスに取り組むとともに、MICEの受入環境の充実やMICE参加者の回遊促進に取り組むことにより、長期的な交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ります。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>誘致セールスの推進</p>			
<p>受入環境の整備</p>			
<p>MICE参加者の回遊促進</p>			
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>		
<p>令和3年度の 主な実績</p>	<p>○誘致セールスの推進：東北地域の大学・学協会等への訪問に加え、オンラインでのMICE商談会への参加や海外など遠方からの相談に対応し、国内外のキーパーソンへの情報発信及び誘致活動を実施した他、企業系会議についても、感染状況を見ながら誘致活動に取り組んだ</p> <p>○受入環境の整備：地元企業を対象としたMICEレベルアップセミナーでは、コロナ禍における安心・安全なMICE開催をテーマとした講演会を実施した他、感染症対策サービスやWeb配信など、コロナ禍のMICE開催を支える事業者を紹介するなど、コロナ禍に対応した受入環境整備に努めた</p> <p>また、国際会議ボランティア育成のための研修会を実施した</p> <p>○MICE参加者の回遊促進：MICE開催機運醸成のため歓迎ポスターの掲出や会議参加者を対象としたランチパスポートの作成・配布を実施</p> <p>(感染拡大防止のため、商店街を会場とした歓迎レセプションは実施せず)</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>MICE参加者の回遊促進事業においては、コロナの感染拡大防止のため一部実施を見送った事業があったが、その他の事業においては、オンラインを活用するなど、コロナ禍でも可能な形での事業を実施した。また、コロナ禍だからこそ必要となる知識の啓発など、概ね予定する事業を実施できた。</p>		



## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑦ TOHOKU未来プロジェクト

#### ⑥ 仙台観光コンテンツ創出

目標	世界中から人を惹きつける環境をつくるため、まつりの開催や観光する人が体験できるプログラムの創出、国際スポーツイベントの招致・開催など観光コンテンツの充実に取り組みます。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	仙台市内の宿泊者数	624 万人 (令和元年)	624 万人 (令和5年)	363万人 (令和3年)		
	全国・国際規模のスポーツ大会の開催数	—	8回 (各年度)	6回		
	青葉山公園(公園センター地区)整備進捗率	—	100% (令和5年度)	79.3%		

#### 137 まつり等開催支援事業

担当:文化観光局

事業概要	交流人口のさらなる拡大を図るとともに、地域経済の活性化を図るため、仙台七夕まつり、仙台・青葉まつり、SENDAI光のページェント、七夕花火祭、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、みちのくYOSAKOIまつりの開催を支援し、観光客の誘致を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	大型観光イベントの支援		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<p>○大型観光イベントの支援：以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催に向け支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止、縮小を余儀なくされた 仙台・青葉まつり（中止）、仙台七夕花火祭（無観客、告知なしで打ち上げ会場分散、オンライン配信）、仙台七夕まつり（縮小開催）、定禅寺ストリートジャズフェスティバル（中止、代替企画オンライン配信）、みちのくYOSAKOIまつり（中止、代替企画オンライン配信）、SENDAI光のページェント（縮小開催）</li> <li>・大型観光イベント事業継続支援として、イベント中止の影響で収入などの減少が見込まれ、事務局機能の維持が困難となっている大型観光イベントに対し、開催に向けた準備作業を行う事務局維持に係る費用を補助した（定禅寺ストリートジャズフェスティバル、みちのくYOSAKOIまつり、SENDAI光のページェント）</li> <li>・大型観光イベント感染症対策補助として、対策費用が増額となる大型観光イベントの消毒液などの衛生消耗品費、注意喚起看板等設置費、警備員等人件費を追加で補助した（仙台七夕まつり、SENDAI光のページェント）</li> </ul>		
評価の理由	事業は概ね順調に進捗した。 新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、大型観光イベントの開催支援に加えて、新たに、大型観光イベント事業継続支援、大型観光イベント感染症対策補助を実施するなど、仙台の伝統的なまつり等の継続開催に向けた支援を行ったところであり、今後も引き続き、コロナの状況を踏まえた開催支援を行っていく。		

138 仙台観光魅力創出事業

担当:文化観光局

事業概要	観光やビジネス等で仙台市を訪れる来訪者の滞在時間延長や消費につなげるため、伊達文化をはじめとする歴史・文化や自然のような、様々な仙台の魅力を生かした体験プログラムなど、新たなコンテンツの発掘・創出と発信を進めます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	交流人口拡大に資するコンテンツの創出		
	交流人口ビジネスの担い手の育成		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流人口拡大に資するコンテンツの創出：「日本一の体験都市」を目指し、令和元年度から継続して1,000本の体験プログラム創出に取り組んでおり、令和3年度末時点で1,159本の体験プログラムを創出することができた</li> <li>○交流人口ビジネスの担い手の育成：新たな交流人口ビジネス創出・担い手育成のため、交流人口ビジネス表彰を実施した他、市内宿泊関連団体との協定に基づき、従業員を対象とした研修会を実施</li> </ul>		
評価の理由	<p>事業は概ね順調に進捗した。</p> <p>交流人口拡大に資するコンテンツの創出では、予定数を上回るコンテンツを創出できており、交流人口ビジネスの担い手育成では、表彰を予定通り行った他、研修会などの取り組みを実施し、旅行者受入環境の向上を行うことができた。</p> <p>今後は「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」に基づき、体験プログラムの磨き上げや交流人口ビジネスのマッチングなどを行っていく。</p>		

139 国際スポーツイベント等の開催・招致事業

担当:文化観光局

事業概要	仙台国際ハーフマラソンなどの国際スポーツイベントや全国規模の大会を招致・開催し、優れた競技スポーツの観戦機会を提供することで、交流人口の拡大や地域の活性化を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	仙台国際ハーフマラソンの開催		
	国際・全国規模大会の誘致・開催		
	スポーツコミッションせんだいによる誘致活動		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仙台国際ハーフマラソンの開催：新型コロナウイルス感染症の影響により中止</li> <li>○国際・全国規模大会の誘致・開催：全日本大学女子駅伝（10月）、全日本実業団女子駅伝（11月）、FIBAバスケットボールワールドカップ2023アジア地区予選（11月）など計6大会を開催</li> </ul>		
評価の理由	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により一部の大会は中止となり、目標値を割り込んだ（6回）が、開催可能となる前提の下、目標値である8回の大会開催準備を進めていたところであり、概ね達成できたものと評価する。</p>		

140 青葉山公園整備事業【再掲】

担当:建設局

<p>事業概要</p>	<p>「青葉山公園整備基本計画」に基づき、国史跡指定地区では歴史的な景観を充実させるとともに、追廻地区では(仮称)公園センターと広場整備を進めるなど、青葉山と広瀬川に囲まれた区域において市民や仙台を訪れた人が楽しむことができる公園整備を進めます。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p> <p>公園センター新築工事</p>	<p>令和4年度</p> <p>追廻地区広場整備工事(公園センター地区)</p> <p>公園センターの運営</p>	<p>令和5年度</p>
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>
<p>令和3年度の 主な実績</p>	<p>○公園センター新築工事：令和4年3月に建屋完成。なお「仙臺緑彩館」に名称決定 ○追廻地区広場整備工事(公園センター地区)：令和4年3月に公園センター地区施設整備(公園センター外構を除く)が完成</p> <p>その他の取り組みは以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年2月に3回目のマーケットサウンディング調査を実施し、3月に指定管理者募集要項等一式(案)をとりまとめた他、令和4年3月に未移転1区画の家屋調査を実施</li> </ul>		
<p>評価の理由</p>	<p>公園センター新築工事が予定通り完成するとともに、追廻地区広場整備工事も順調に進捗した。</p>		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑦ TOHOKU未来プロジェクト

#### ⑦ 西部地区魅力向上推進

目標	秋保・作並定義・泉西部地区の交流人口を拡大するため、自然を活用した体験プログラムを充実するとともに、地域資源を活かした観光コンテンツの充実や観光施設の魅力向上などに取り組みます。					
総括	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画通り進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	秋保・作並温泉の宿泊者数	106万人 (令和元年)	106万人 (令和5年)	52万人 (令和3年)		
	秋保大滝植物園の入園者数	11,450人 (令和元年度)	基準値を維持	4,427人 (令和3年)		
	秋保ビジターセンターの利用者数	22,145人 (令和元年度)	基準値を維持	13,336人 (令和3年)		
	仙台秋保そばフェスの来場者数	2,300人 (令和元年度)	基準値を維持	— ※		
秋保地域における空き家などのストック件数	—	3件 (令和5年度)	0件			

※新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。

#### 141 西部地区観光振興事業

担当:文化観光局

事業概要	温泉や自然、工芸など西部地区ならではの観光資源を生かした体験プログラムを発掘・創出し、効果的な魅力発信を行うことにより、西部地区への誘客促進を図るとともに、滞在時間の延長や宿泊数の増加につなげます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	地域資源を活用した体験型観光の推進		
	ウェブサイト等様々な媒体による効果的な情報発信		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域資源を活用した体験型観光の推進：それぞれの地区の温泉旅館組合と連携し、秋保でVRコンテンツ造成、作並で仙台駅までの観光バス実証実験を行った</li> <li>○ウェブサイト等様々な媒体による効果的な情報発信：秋保文化の里センターをはじめ各種観光情報サイトなどにおいて、西部の温泉や自然、体験プログラムなどの情報発信を行った</li> <li>○西部地区活性化事業助成金事業の実施：西部地区の団体が実施する18事業に助成を行った</li> </ul>		
評価の理由	事業は概ね順調に進捗している。 新型コロナウイルス感染症により一部中止となった事業もあったが、西部地区の団体と連携し、コンテンツの創出や魅力発信を行うことができた。今後は、地域の団体と引き続き連携しながら、「交流人口ビジネス活性化戦略2024」に基づき、西部地区におけるブランディングのあり方等について検討していく。		

### 142 秋保大滝・二口エリア等魅力向上事業

担当:文化観光局、建設局、  
太白区秋保総合支所

事業概要	秋保大滝周辺では、秋保大滝植物園や大滝れすとはうすを中心とした周遊性の向上に取り組みます。また、二口エリアでは、自然資源やビジターセンターの利用促進、適正な維持管理と情報発信を行うとともに、秋保の観光施設の今後のあり方を検討し、各市有施設の魅力向上と秋保全体の活性化につなげます。		
年次計画	令和3年度 秋保ビジターセンター・秋保大滝植物園の機能強化、魅力アップの方向性の検討	令和4年度 秋保ビジターセンター改修設計	令和5年度 秋保ビジターセンター改修工事
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○秋保ビジターセンター・秋保大滝植物園の機能強化、魅力アップの方向性の検討：関係部署からなる「秋保大滝・二口エリア観光施設等管理運営方針策定調整会議」を立ち上げ（4回開催）、当該エリアの魅力向上に向けた検討を進めた他、秋保ビジターセンターについて、関係部署や指定管理者と連携を図りながら、大規模改修の設計に向けた検討を進めた		
評価の理由	事業は概ね順調に進捗した。 秋保大滝植物園の機能強化及び魅力向上に向け、局横断的に課題や今後の方向性について認識のすり合わせを行いながら検討を進めることができた。また、秋保ビジターセンターについて、施設の長寿命化に加え、各部屋を使いやすいレイアウトにすることやトイレの利便性向上を図るなど、機能強化の視点も盛り込み改修設計案の検討を進めることができた。 今後は、上記会議において検討した内容を具現化するため、民間事業者のヒアリングを実施するなど調査等を進める。		

### 143 秋保地区交流人口拡大事業

担当:太白区秋保総合支所

事業概要	秋保地域における交流人口の拡大を図るため、地域づくりを担う人材育成の支援や、地域資源の魅力の創出・発信などとともに、特産のそばを生かした地域ブランド向上、地域おこし協力隊を活用した空き家の利活用による移住促進などに取り組みます。		
年次計画	令和3年度 空き家の利活用モデル事業の検討 空き家など情報収集・意向調査	令和4年度 そばの郷秋保振興事業の実施 空き家の利活用モデル事業実施	令和5年度 移住セミナー開催 移住フォーラム開催
進捗状況	△		
令和3年度の主な実績	○そばの郷秋保振興事業の実施：仙台のそば処としての情報発信と地産地消の拡充、「秋保在来そば」のブランド向上を進めるため、「秋保そば街道」パンフレットを増刷した。また、ふるさと応援寄付（納税）の返礼品に採用された ○空き家の利活用モデル事業の検討：県内先行自治体の事例調査などを実施 ○空き家など情報収集・意向調査：地区内の町内会長を対象に、事業の説明会を開催して情報収集を開始した。12件の物件の所有者に対して、空き家利活用の意向や空き家の現況の調査を行った		
評価の理由	6月開催予定であった「仙台秋保そばフェス2021」がコロナ禍により中止になるなど、予定通り実施できなかったイベントも発生したが、そばの郷としての取り組みは地域内で広まってきており、ブランドとしての認知度も高まってきた。 また、空き家利活用事業についても、地域おこし協力隊員の任用や先進地調査などの取り組みを進めた。 目標達成に向け、今後も各事業の改善に努める。		



## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

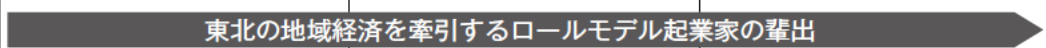

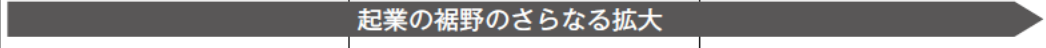
### ⑧ 都心創生プロジェクト

#### ① 都心のビジネス環境向上

目標	投資を呼び込み、新しいチャレンジが生まれる都心部をつくるため、市街地再開発事業の推進や老朽建築物の建て替えの促進、起業家の取り組みの支援など、都心部の活力とにぎわいを生む取り組みを進めます。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	アシ☆スタの支援により開業した事業所の開業3年後の事業継続率	87.6% (令和元年度)	70.0% (令和5年度)	82.0% (令和4年5月時点)	/	/
	誘致による進出企業数	平均27件/年 (平成27～令和元年度)	合計100件 (令和3～5年度)	18件	/	/

#### 144 起業支援事業【再掲】

担当: 経済局

事業概要	仙台・東北の人々が経済的・精神的豊かさを実感できる未来を目指し、地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出や、社会的課題に対して持続可能な解決策に挑戦する社会起業家の育成に重点的に取り組むとともに、起業の裾野の拡大と起業後のフォローアップを行います。					
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
						
						
						
進捗状況	○	/	/			
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東北の地域経済を牽引するロールモデル起業家の輩出：集中支援プログラム「東北グロースアクセラレーター」を通じて20者のスタートアップ企業を採択し、約6か月間の集中支援を実施した他、過年度採択者のフォローアップ支援を実施し、令和3年度資金調達実績は6億円超となった</li> <li>○社会起業家の育成：集中支援プログラム「東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーター」を通じて13名の社会起業家を採択し、約6か月間の集中支援を実施</li> <li>○起業の裾野のさらなる拡大：仙台市起業支援センター「アシ☆スタ」を通じて、1,838件の起業相談対応を実施し、119件の開業を支援</li> </ul>					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施形態をオンライン中心にするなどし、各事業を実施。首都などへのプロモーションやビジネスマッチング機会提供などは引き続き影響があるものの、事業は概ね順調に進捗した。東北グロースアクセラレーター、東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーター、アシ☆スタなどの採択者・支援先企業に対してフォローアップ支援を強化し、事業の安定化、さらなる成長に向けた支援を行う他、スタートアップ・エコシステムの発展に向けた産学官金の連携強化を進める。					

### 145 企業立地促進事業【再掲】

担当: 経済局

事業概要	地域経済への波及効果が高い企業などの誘致を進めるため、仙台市の優れた立地環境や各種支援策の情報提供、自然災害や感染症拡大におけるリスク分散などのBCPの観点を示しながら、企業訪問などを実施します。また、企業の仙台市への新規投資を促進するため、事業所の設置や設備更新などを行う企業に対して、助成金を交付します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業誘致プロモーションの推進：域外企業との意見交換、PRを125件実施</li> <li>○企業立地促進助成の実施：新規指定件数18件</li> </ul>		
評価の理由	コロナ禍におけるテレワーク普及によってICT関連企業の立地が減少しており、その他の業種の進出も少なかったものの、蒲生北部地区での新規立地や東北大学との連携による研究開発拠点の新設、地方拠点強化税制のメリットを活用した本社機能の移転などが進んだ。		

### 146 まちなか拠点整備事業

担当: 都市整備局

事業概要	せんだい都心再構築プロジェクトで示した都心機能強化の重点ゾーンとなっている地域などにおいて、新たなにぎわいの創出や魅力の向上を図るため、市街地再開発事業などの民間開発を推進します。また、人が中心となったまちづくりの将来イメージの実現に向け、交流人口拡大に寄与する、青葉通の一部広場化に向けた取り組みを進めます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市街地再開発事業等民間開発の推進：市街地再開発事業の事業化を目指し準備組合設立に向けた検討を行う地区について、検討の場への参加や関係機関との協議調整などの支援を実施</li> <li>○青葉通の一部広場化検討：6月には官民連携による青葉通駅前エリアのあり方検討協議会を立ち上げ、沿道の地権者の方などとともにこのエリアのあり方について検討を開始した他、令和4年3月にはまちづくりの機運醸成に向け、市民参画イベントを実施</li> </ul>		
評価の理由	市街地再開発事業等民間開発の推進について、再開発協議会組織が設立されるなど事業化に向けて進捗した他、青葉通の一部広場化検討についても検討を着実に進めた。		

147 まちなか建替促進事業

担当:都市整備局

<p>事業概要</p>	<p>都心部の機能強化と市街地環境の改善を図るため、防災性の向上やにぎわい創出に寄与する、老朽建築物の建て替え事業を推進するとともに、高機能オフィスを誘導します。また、優良建築物等整備事業の活用や、地元が行う事業検討などへの新たな支援策について検討を進めます。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>
<p>仙台市都心部建替促進助成金制度を活用した建て替えの推進</p>			
<p>容積率緩和による高機能オフィスの誘導</p>			
<p>優良建築物等整備事業制度を活用した事業の推進</p>			
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>
<p>令和3年度の 主な実績</p>	<p>○仙台市都心部建替促進助成金制度を活用した建て替えの推進：建て替えに向けた具体の検討を行う事業者と施策の適用などについて協議を実施 ○容積率緩和による高機能オフィスの誘導：施策を活用した開発案件の事業化に向け具体の検討を行う複数の事業者と協議を実施 ○優良建築物等整備事業制度を活用した事業の推進：中小規模の事業者に対して建て替えの検討を促すため、都心部の不動産利活用に係る総合支援業務を実施</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>建て替えの推進及び高機能オフィスの誘導について、令和3年度には事業化した地区はなかったものの、着実に協議を進めたことで、複数の地区が令和4年度に事業化される見通しとなった他、都心部の不動産利活用に係る総合支援業務の実施により、地元ビルオーナーの検討意欲の喚起につながった。</p>		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑧ 都心創生プロジェクト

#### ② 巡りたくなる都心の魅力づくり

目標	都心のにぎわい創出と回遊性の向上を目指すため、市役所本庁舎の建て替えや公園の再整備、中心部商店街等への来街促進や既存ストックの利活用の推進などを通じて、居心地がよく巡りたくなるようなまちなか空間の形成を推進します。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	定禅寺通における歩行者・自転車運転者通行量	12:00～13:00 725人 17:00～18:00 852人 (令和元年度)	基準値以上	12:00-13:00 523人 17:00-18:00 511人	/	/
	中心部商店街の歩行者通行量	313,728人 (令和2年度)	344,000人 (令和5年度)	255,833人	/	/
	公共空間での社会実験の実施日数	—	合計30日 (令和3～5年度)	延991日	/	/
	せんだい都市再生まちづくり団体の認定数	—	合計3件 (令和3～5年度)	1件	/	/
	遊休不動産のリノベーション事業の件数	平均1件/年 (平成30年度～令和2年度)	合計3件 (令和3～5年度)	1件	/	/
	勾当台公園再整備基本計画策定進捗率	—	100% (令和4年度)	0%	/	/
西公園再整備進捗率	—	85% (令和5年度)	72.6%	/	/	

148 定禅寺通活性化推進事業【再掲】

担当:まちづくり政策局

事業概要	「杜の都・仙台」の象徴である定禅寺通において、地元関係者などとともに、道路空間再構成やエリアマネジメントの導入なども視野にエリアの将来像を描き、エリアの魅力の創出につながるアクションなどを実施することで、まちなか全体の回遊性を高め、より一層多くの人を魅了する都市を目指します。		
年次計画	令和3年度 社会実験実施 まちづくり基本構想策定	令和4年度 仙台市の方針策定 エリアマネジメント体制議論 地域による主体的な利活用事業などの実施	令和5年度 具体的な事業実施
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○社会実験実施：8月20日～9月7日の19日間、車線規制を伴う大規模社会実験を定禅寺通活性化検討会と共催実施するとともに、空間活用ワーキンググループによる以下の社会実験を実施 ・LIVING STREET PROJECT（188日間）、定禅寺ストリートアライアンス（大規模社会実験と同時）、Green Activity（5回）、アートな街・定禅寺通（1回）、定禅寺通エリアブランディングプロジェクト（大規模社会実験と同時） ○まちづくり基本構想策定：令和4年3月に定禅寺通活性化検討会において「定禅寺通エリアまちづくり基本構想」を策定		
評価の理由	コロナ禍の影響で大規模社会実験期間中の空間利活用は縮小及び中止となったが、交通規制や各種調査は予定通り実施し、自動車交通への大きな影響はないこと、空間利活用で滞在者が増えたことなどの結果が得られた。また、空間活用ワーキンググループによる社会実験においては、実施回数の増加や新たな企画の実現が図られた。併せて、予定通りまちづくり基本構想が策定されるなど、順調に進捗した。 令和4年度は上記を踏まえ、本市において定禅寺通の再整備に向けた方針を策定予定。		

149 市役所本庁舎建替事業

担当:財政局

事業概要	「仙台市役所本庁舎建替基本計画」に基づき、老朽化などの様々な課題を抱える現本庁舎の建て替えを推進するとともに、新本庁舎における低層部、敷地内広場、勾当台公園市民広場を含めた公共空間との一体的な利活用や、職員の知的生産性を向上させるための望ましい執務空間のあり方を検討し、本体設計に反映させます。		
年次計画	令和3年度 基本設計 低層部等事業可能性調査	令和4年度 実施設計 低層部事業の検討 執務環境計画等業務委託の実施	令和5年度 施工者選定
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○基本設計：11月に市民説明会を開催し基本設計中間案を公表した後、説明会での意見などを踏まえ、令和4年3月に仙台市本庁舎建替基本設計書を作成 ○低層部等事業可能性調査：新本庁舎低層部に求められる機能や設備等について、民間事業者や現在市民広場などを使ってイベントを行っている団体、防災関係の有識者にヒアリングを行った他、外部有識者会議を4回開催し、低層部の配置計画や事業スキームなどの検討を実施 ○執務環境計画等業務委託の実施：新本庁舎執務環境のコンセプト策定や庁内広報紙の発行を行った他、諸室配置や各所属における配慮事項についてヒアリングを実施		
評価の理由	各業務とも、年次計画に掲げる予定通りに事業進捗した。 設計については、今後、基本設計書に基づき、実施設計において詳細な設計を検討する。低層部については、民間活力の導入による新本庁舎低層部と周辺との一体的利活用の実現に向け、社会実験などの実施により引き続き事業スキームなどの検討を進める他、執務環境については、今後、各諸室のフロア配置について各局と協議しレイアウト案を固めるとともに、庁内ワーキングを通じ、新庁舎における働く環境や働き方を検討し、新たな執務環境の構築に向けた検討を進める。		



## 150 中心部商店街活性化促進事業

担当: 経済局

事業概要	中心部商店街への来街を促進するイベントを行うほか、定禅寺通や青葉通、肴町公園などの公共空間を活用したまちづくりの取り組みと連携しながら、新たな魅力の創出や回遊性の向上を図ります。		
年次計画	令和3年度 キッチンカーマルシェの実証実験	令和4年度 キッチンカーマルシェの運営自走化	令和5年度 にぎわい創出・回遊性の向上、来街促進の取り組みの推進
進捗状況	△コロナ		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キッチンカーマルシェの実証実験：公園や公開空地を活用した実証実験を計7回実施（開催場所は勾当台公園いこいの広場、勾当台公園市民広場、錦町公園、仙台トラストシティ公開空地、アエル公開空地、NTTドコモ東北ビル公開空地）</li> <li>また、キッチンカー事業に関心がある事業者向けに、事業展開の利点や出店場所の開拓などを説明するキッチンカーマルシェトライアルセミナーを開催</li> <li>○にぎわい創出・回遊性の向上、来街促進の取り組みの推進：新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、予定していた中心部商店街謎解き街歩き事業、中心部商店街賑わい創出事業が実施できなかった</li> </ul>		
評価の理由	<p>キッチンカーマルシェの開催により、移動販売機会の創出を図るとともに、市内都心部エリアのまちの魅力を高め、地域内の消費喚起及び回遊性向上につながった。しかしながら、中心部商店街の歩行者通行量が昨年度に比べ減少（ただし、宮城県・仙台市独自の緊急事態宣言が発令中の調査結果）した他、新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受け、商店街におけるイベントなどが開催困難となり、外出自粛の中で代替措置も講じることができず事業中止となった。</p> <p>今後、適切な感染症対策を図りながら、にぎわい創出・回遊性の向上、来街促進の取り組みについて検討を行っていく。</p>		

## 151 音楽ホール整備事業【再掲】

担当: 文化観光局

事業概要	音楽の都・楽都としての魅力をさらに高め、文化芸術振興の中核拠点となる音楽ホールの整備に向けて、新型コロナウイルス感染症による様々な影響を見極めつつ、幅広い市民、団体等の意見を伺いながら検討を進めます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度 整備に向けた検討	令和5年度
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○整備に向けた検討：令和4年2月、市長会見及び施政方針にて音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点との複合施設として青葉山交流広場に整備すること、及び令和4年度に基本構想の策定に着手することを表明した		
評価の理由	<p>新型コロナウイルス感染症等の影響により検討に時間を要したが、年度内に立地場所及び複合整備について表明することができた。</p> <p>令和4年度は、基本構想検討委員会を設置するとともに市民意見を伺う機会を設け、基本構想の策定に向けた検討を進める。</p>		

## 152 まちなかウォーカブル推進事業

担当:都市整備局

事業概要	都心において、居心地が良く巡り歩きたくなるまちなか空間を形成するとともに、市民が快適に滞在できるオープンスペースを創出するため、民間事業者などと連携し、国の制度などを活用しながら、公共空間における滞在環境向上に資する事業や、その効果の測定を実施します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	都心のまちなかウォーカブル推進事業の実施		
	民間事業者によるまちなかウォーカブルに資する事業の実施支援		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<p>○都心のまちなかウォーカブル推進事業の実施：定禅寺通や榴岡公園などにおける社会実験の実施、青葉通のあり方検討など、各局の施策と連携し、国の制度を活用しながら5地区で事業を実施</p> <p>○民間事業者によるまちなかウォーカブルに資する事業の実施支援：本市での導入に向けた制度検討を実施</p> <p>○ウォーカブルなまちなか空間形成に関する効果測定の実施：肴町公園及び宮城野通の2地区において、国の指標を用いて効果測定を実施</p>		
評価の理由	事業は概ね予定通りに進捗した。なお、令和3年度より制度設計の検討を行ってきた民間事業者によるまちなかウォーカブル事業については、令和4年度から実施・制度運用開始となる見込みである。		

## 153 まち再生・まち育て活動支援事業【再掲】

担当:都市整備局

事業概要	地域の実情や特性を生かした魅力的なまちづくりに戦略的に取り組むため、地元の住民や事業者などによるエリアマネジメント活動を支援するとともに、都心における低未利用地の改善方策の検討を行います。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	地域のエリアマネジメント活動支援		
	低未利用地の改善方策の検討		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<p>○地域のエリアマネジメント活動支援：以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>荒井東地区では、都市再生特別措置法の改正で新設された「滞在快適性等向上公園施設設置管理協定制度」を活用するため都市再生整備計画の変更を行った</li> <li>長町地区では、協議会の活動を支援するためのまちづくりアドバイザーを派遣した他、杜の広場公園において、屋外イベント開催支援補助金を活用し、長町夜市（台湾屋台を再現）を開催</li> <li>仙台駅東地区では、宮城野通でのモビリティ社会実験の実施や榴岡公園利活用社会実験の実施を支援するとともに、まちづくり協議会を「せんだい都市再生まちづくり団体」に認定</li> <li>肴町公園周辺地区では、まちづくり協議会の設立を支援するとともに、エリアビジョンの作成及び肴町公園での小規模拠点整備社会実験、新型コロナウイルス感染症の影響に対応するための道路占用特例を活用したテラス席設置を支援</li> </ul> <p>○低未利用地の改善方策の検討：仙台駅東地区において、土地区画整理事業で確保された公園予定地を公園整備着手まで予約制駐車場として活用し、その収益の一部で地域貢献（防犯カメラなどの設置を想定）する取り組みを支援</p>		
評価の理由	エリアマネジメント活動支援について着実な進捗が図られ、低未利用地の改善方策についても1地区の検討を進めた。		

154 ストック活用型都市再生推進事業【再掲】

担当:都市整備局

事業概要	市街地において、にぎわい創出や回遊性の向上を図るとともに、懐の深い都市空間を形成するため、まちづくりのプレイヤーと連携し、遊休不動産のリノベーションや公共空間の利活用を推進するとともに、様々な機会を捉えた積極的な情報発信を行います。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	遊休不動産のリノベーション事業の支援		
	公共空間の利活用の支援		
	情報発信・研修などの実施		
進捗状況	△コロナ		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊休不動産のリノベーション事業の支援：大町地区において、リノベーションまちづくり実行委員会メンバーによるマンションからオフィス等へのリノベーション事業1件を支援</li> <li>○公共空間の利活用の支援：0件</li> <li>○情報発信・研修などの実施：国土交通省技術審議官による職員向けの講演会を開催</li> </ul>		
評価の理由	遊休不動産のリノベーション及び研修の実施は予定通り実施したが、公共空間の利活用支援については、緊急事態宣言等の発出を受け、民間実施主体の判断により全てのイベントの開催を見送り、代替開催も困難であった。		

155 勾当台公園再整備事業【再掲】

担当:建設局

事業概要	「勾当台・定禅寺通エリアビジョン」のほか、市役所本庁舎の建て替えなど、周辺で進む関連プロジェクトの内容を踏まえ、勾当台公園全体のあり方についての調査・検討、基本構想・基本計画の策定、整備工事に順次着手し、市内中心部の日常的なにぎわい・交流を創出する勾当台公園の再整備を進めます。			
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	基本構想の策定	基本計画の策定	基本設計	実施設計
進捗状況	△			
令和3年度の主な実績	○基本構想の策定：有識者等で構成する「勾当台公園再整備検討懇話会」を年度内に2回開催し、基本構想素案をとりまとめ			
評価の理由	当初予定していた令和3年度内の基本構想策定に遅れが生じたが、令和4年4月には懇話会を開催し、その最終案をとりまとめた。			

156 西公園再整備事業【再掲】

担当:建設局

<p>事業概要</p>	<p>地下鉄東西線大町西公園駅の整備など、周辺の環境が大きく変化した西公園について、みどりの持つ多様な機能を最大限活用しながら、園路・多目的広場の整備など計画的な再整備を行います。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度</p> <p>南側区域プール跡地における基盤整備・園路整備 トイレ設計</p>	<p>令和4年度</p> <p>トイレ整備</p>	<p>令和5年度</p> <p>広場などの整備</p>
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>	<p>●</p>	<p>●</p>
<p>令和3年度の 主な実績</p>	<p>○基盤整備・園路整備：既設構造物・土砂等の撤去及び既存樹木の伐採業務を実施 ○トイレ設計：設計業務を完了</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>当初予定していた基盤整備・園路整備に一部遅れはあるものの、事業は概ね順調に進捗した。</p>		

# チャレンジプロジェクト 自己評価シート

## ⑨ 市政運営

### ① 持続可能な都市基盤づくり推進

目標	機能集約型の都市づくりと公共交通を中心とした交通体系の構築、自然と調和した持続可能な都市づくりを一体的に進めるため、都市計画マスタープランの地域別構想や立地適正化計画の策定、地下鉄沿線のまちづくりなどに取り組みます。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	地下鉄沿線区域人口の割合	40.4% (令和2年度)	前年度実績より増加	40.6%		
	地下鉄沿線区域の夜間人口	43.1万人 (令和2年度)	前年度実績より増加	43.3万人		

### 157 機能集約型都市づくり推進事業

担当: 都市整備局

事業概要	「杜の都」の豊かな自然と、市民の暮らしを支える都市機能が調和した都市をつくるため、鉄道を基軸とした機能集約型の都市づくりに継続的に取り組むとともに、地域別構想と立地適正化計画の策定に取り組みます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	鉄道を基軸とした機能集約型の都市づくりの推進		
	地域別構想の策定		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鉄道を基軸とした機能集約型の都市づくりの推進：都市計画マスタープラン全体構想に基づき都市計画の変更を行うなど、本市が目指す機能集約型のまちづくりに取り組んだ</li> <li>○地域別構想の策定：本市の都市構造上、重要な役割を担う都心・泉中央・長町の3地区について、地域ごとのきめ細やかな都市づくりの方針を示す都市計画マスタープラン地域別構想の検討を進め、都市計画協議会への意見聴取やパブリックコメントなどによる市民意見の聴取を行い、令和4年3月に策定</li> <li>○立地適正化計画の策定：都市計画協議会への意見聴取（計2回）を行いながら、本市の現状分析や誘導区域の設定方針などについて検討を行った</li> </ul>		
評価の理由	都市計画マスタープラン地域別構想の策定や立地適正化計画の策定に向けた検討を進めるなど、当初予定していた事業内容は概ね順調に進捗した。引き続き、立地適正化計画の策定に向けた検討を進めるなど、機能集約型都市づくりに取り組んでいく。		



158 地下鉄沿線まちづくり推進事業

担当:都市整備局

<p>事業概要</p>	<p>人口減少社会を見据えつつ、仙台市が目指す機能集約型の都市づくりを加速させるため、地下鉄沿線のまちづくりの方向性を示すプランを策定するとともに、沿線の民間事業や地域主体のまちづくりを支援するなど、地下鉄南北線と東西線による十文字型の都市軸におけるまちづくりを推進します。</p>		
<p>年次計画</p>	<p>令和3年度 推進プランの検討・策定</p>	<p>令和4年度 推進プランに示す施策の検討・実施</p>	<p>令和5年度 組合士地区画整理事業や優良建築物等整備事業の助言・監督・技術的援助の実施 低未利用地の土地利用転換に向けた働きかけ、地域主体のまちづくり支援など</p>
<p>進捗状況</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>
<p>令和3年度の 主な実績</p>	<p>○推進プランの検討・策定：沿線まちづくりの基本方針及び東西線沿線まちづくりプランを策定 ○助言・監督・技術的援助の実施：仙台六丁の目元町・六丁目地区、長喜城東地区及び富沢駅西地区での組合区画整理事業の支援、河原町一丁目での優良建築物等整備事業化に向けた費用便益分析（B/C）を実施 ○低未利用地の土地利用転換に向けた働きかけ、地域主体のまちづくり支援など：地下鉄沿線に対するニーズや沿線開発促進に向けた条件などを把握するため、民間開発に関する企業ヒアリングを実施</p>		
<p>評価の理由</p>	<p>令和3年度は予定通りに、沿線まちづくりの基本方針及び東西線沿線まちづくりプランを策定した。令和4年度は「南北線沿線まちづくりプラン」を策定するとともに、新たに設置した「地下鉄沿線まちづくり推進会議」において、推進プランに示す施策の進捗管理などを行っていく。 組合区画整理事業においては、仮換地指定や組合解散認可に向けた取り組みなど、各地区とも円滑な事業進捗が図られた他、優良建築物等整備事業は令和4年度からの事業化に向けた着実な準備が行われた。 また、低未利用地の土地利用転換に向けた働きかけ、地域主体のまちづくり支援などについて、令和2年度に実施したアンケート調査結果をもとに、開発事業を計画している事業者に対し進捗状況や課題・本市の支援制度の活用実態把握のための追加ヒアリングを行ったが、事業の進捗に伴う新たな課題などは挙げられなかった。</p>		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑨ 市政運営

#### ② 公共施設経営推進

目標	持続可能な都市経営の基盤を構築し、公共施設を将来にわたって持続的に提供できるよう、公共施設総合マネジメントを推進するとともに、下水道や浄水場など公共インフラの再構築を図ります。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	下水道施設再構築計画策定進捗率	—	100% (令和5年度)	30%		
	浄水場統合整備計画策定進捗率	—	100% (令和4年度)	22%		

#### 159 公共施設総合マネジメント推進事業

担当: 財政局、都市整備局

事業概要	市民に対して安心して利用できる公共施設を将来にわたって持続的に提供するため、施設の長寿命化や活用の徹底、質・量の適正化などに取り組みます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公共施設総合マネジメントプランに基づく事業の実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○公共施設総合マネジメントプランに基づく事業の実施：以下の通り ・大規模改修実績 庁舎3件、文化センター1件、文化施設3件、スポーツ施設8件、その他施設1件、市民センター4件、保育所5件、児童館5件、学校11件、保健センター1件、福祉施設2件、コミュニティセンター4件、消防署1件 ・複合化施設実績 将監地区複合化施設（市民センター、児童センター、老人憩の家）完成		
評価の理由	事業は概ね予定通りに進み、順調に進捗している。		

160 泉区役所建替事業

担当: 財政局、泉区

事業概要	老朽化した泉区役所庁舎について、市民や周辺事業者などとも意見交換しながら、民間活力導入により建て替えるとともに、建て替えを契機として地域の活性化や課題の解決を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	事業者選定、整備（区役所庁舎の建て替え・敷地の利活用）		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○事業者選定、整備（区役所庁舎の建て替え・敷地の利活用）：泉区役所の建て替えに関する懇話会を1回、泉区役所の建て替えに関する事業者選定委員会を4回開催し、当該委員会において提案書等の審査及び優先交渉権者等を選定、その後、本市として事業予定者等を決定した		
評価の理由	概ね予定どおり進捗しているが、地域の活性化や交通課題等の解決に向け、事業予定者との協議や関係者間の調整を行うこととしている。令和4年度は、基本協定を締結するとともに、基本計画の内容について協議を進める。		

161 市役所本庁舎建替事業【再掲】

担当: 財政局

事業概要	「仙台市役所本庁舎建替基本計画」に基づき、老朽化などの様々な課題を抱える現本庁舎の建て替えを推進するとともに、新本庁舎における低層部、敷地内広場、勾当台公園市民広場を含めた公共空間との一体的な利活用や、職員の知的生産性を向上させるための望ましい執務空間のあり方を検討し、本体設計に反映させます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	基本設計	実施設計	施工者選定
	低層部等事業可能性調査	低層部事業の検討	
	執務環境計画等業務委託の実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本設計：11月に市民説明会を開催し基本設計中間案を公表した後、説明会での意見などを踏まえ、令和4年3月に仙台市本庁舎建替基本設計書を作成</li> <li>○低層部等事業可能性調査：新本庁舎低層部に求められる機能や設備等について、民間事業者や現在市民広場などを使ってイベントを行っている団体、防災関係の有識者にヒアリングを行った他、外部有識者会議を4回開催し、低層部の配置計画や事業スキームなどの検討を実施</li> <li>○執務環境計画等業務委託の実施：新本庁舎執務環境のコンセプト策定や庁内広報紙の発行を行った他、諸室配置や各所属における配慮事項についてヒアリングを実施</li> </ul>		
評価の理由	各業務とも、年次計画に掲げる予定通りに事業進捗した。設計については、今後、基本設計書に基づき、実施設計において詳細な設計を検討する。低層部については、民間活力の導入による新本庁舎低層部と周辺との一体的利活用の実現に向け、社会実験などの実施により引き続き事業スキームなどの検討を進める。他、執務環境については、今後、各諸室のフロア配置について各局と協議しレイアウト案を固めるとともに、庁内ワーキングを通じ、新庁舎における働く環境や働き方を検討し、新たな執務環境の構築に向けた検討を進める。		

## 162 下水道施設再構築事業

担当:建設局

事業概要	市中心部の流量過多により管路の耐震化事業を実施できない区間などに対し、バイパス機能と浸水対策機能を付加した新たな管路を構築するなどの合流幹線の再構築計画を策定します。また、郡山ポンプ場が抱える耐震化・老朽化・浸水対策・合流改善などの複合的課題を解決するため、機能高度化を図った再構築計画を策定します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	合流幹線再構築：計画策定		
	郡山ポンプ場の再構築：計画策定		ポンプ場の再構築：設計
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○合流幹線再構築 計画策定：合流幹線のマンホールや管渠の現況調査を実施 ○郡山ポンプ場の再構築 計画策定：郡山ポンプ場の機能向上のため、排水能力の増強について、関係機関との協議を行った		
評価の理由	事業は年次計画の通り、概ね順調に進捗した。		

## 163 浄水場統合推進事業

担当:水道局

事業概要	稼働開始から約60年を迎え、老朽化が進行した国見浄水場の更新時期に合わせて、国見浄水場と同様に大倉ダムを水源とし、耐震性に課題のある中原浄水場との統合更新を進めます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	整備計画の策定		基本設計に着手
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	○整備計画の策定：令和2年度末に塩竈市と浄水場の共同化に向けた覚書を締結し、塩竈市と協力しながら整備計画の策定を進めてきた また、整備計画策定支援業務委託契約を8月に締結し、具体的な検討を進めた		
評価の理由	当初の予定通り、概ね順調に進捗している。引き続き検討を行い、令和4年度に整備計画を策定、公表する。		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

### ⑨ 市政運営

#### ③ 公共インフラ災害対策

目標	地震や豪雨など、近年激甚化する災害時のリスクを低減するため、無電柱化や橋梁・上下水道施設などの耐震化、河川改修や雨水排水施設の整備など、公共インフラの災害対策を計画的に進めます。					
総括	全ての事業において着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	無電柱化推進計画に基づく事業着手延長	0.8km (令和元年度)	4.9km (令和5年度)	3.9km	/	/
	橋梁の耐震補強工事の完了数	2橋 (令和元年度)	9橋 (令和5年度)	3橋	/	/
	道路法面の落石対策工事の完了数	35箇所 (令和元年度)	63箇所 (令和5年度)	54箇所	/	/
	河川整備率(堀切川)	39.9% (令和元年度)	64.9% (令和5年度)	54.4%	/	/
	下水道浸水対策工事の着手率	0% (令和元年度)	100% (令和5年度)	50%	/	/
	雨水排水施設の整備率	35.7% (令和元年度)	37.1% (令和5年度)	36.9%	/	/
	下水道耐震化率(管路)	41.0% (令和元年度)	46.9% (令和5年度)	44%	/	/
	水道施設の耐震化箇所数	—	5箇所 (令和5年度)	2箇所	/	/
	重要給水施設への管路の耐震化箇所数	—	1箇所 (令和5年度)	2箇所	/	/
災害時給水栓の設置数	—	24箇所 (令和5年度)	10箇所	/	/	



## 164 無電柱化推進事業

担当:建設局

事業概要	防災性の向上や安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上や観光振興などを図るため、電線共同溝整備などによる道路の無電柱化を推進するとともに、道路法第37条に基づく占用制限などにより電柱の新設の抑制に努めます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	無電柱化整備の推進		
	道路法に基づく占用制限の実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○無電柱化整備の推進：5路線、3.1kmの事業に着手した他、仙台泉線について、事業実施に向けた協議を実施</li> <li>○道路法に基づく占用制限の実施：本市指定の3次緊急輸送道路について占用制限の告示を実施</li> </ul>		
評価の理由	当初想定したスケジュールよりも関係機関との調整が進み、予定より前倒しで設計に着手するなど、順調に進捗した。		

## 165 道路防災対策事業

担当:建設局

事業概要	災害発生時の避難や救助などに欠かせない道路ネットワークを確保するため、緊急輸送道路に架かる橋梁の防災対策を進めます。また、市民の生活に不可欠な道路の安全な通行を確保するため、緊急度を勘案しながら、緊急輸送道路や土砂災害警戒区域内の法面などの防災対策を進めます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	橋梁耐震補強工事の実施		
	落石対策工事の実施		
	路面下空洞対策工事の実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○橋梁耐震補強工事の実施：予定していた六丁目橋の耐震補強工事が完了</li> <li>○落石対策工事の実施：予定していた7箇所中、仙台山寺線（峠下）など6箇所に対策工事が完了</li> <li>○路面下空洞対策工事の実施：予定通り、（市道）中央通線などの64箇所全ての対策工事が完了</li> </ul>		
評価の理由	計画した対策工事が予定通り完了しており、事業は概ね順調に進捗した。		

166 河川改修事業

担当:建設局

事業概要	一級河川後田川、二級河川高野川、準用河川谷地堀、準用河川堀切川において、浸水被害の解消を目的とした河川拡幅などと、多自然川づくりを取り入れた市民に親しまれる河川整備を実施します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	一級河川後田川：設計、用地買収の実施		
	二級河川高野川：設計、用地買収、河川横断施設移設工事の実施		
	準用河川谷地堀：河川横断施設移設工事の実施		
	準用河川堀切川：河川改修（河川拡幅、線形改良、河床掘り下げ）工事の実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一級河川後田川 設計、用地買収の実施：修正設計を行った他、一部用地の境界確定を行った</li> <li>○二級河川高野川 設計、用地買収、河川横断施設移設工事の実施：川前橋の詳細設計を行った他、補償物件の調査・算定を行った</li> <li>○準用河川谷地堀 河川横断施設移設工事の実施：宮城県仙南・仙塩広域水道事務所及び本市水道局と移設工事に関する協定を締結</li> <li>○準用河川堀切川 河川改修（河川拡幅、線形改良、河床掘り下げ）工事の実施：河川の改修工事を240m行った</li> </ul>		
評価の理由	準用河川堀切川について、3年間で25%の河川整備率上昇を目標としており、令和3年度に整備率が14.5%上昇したことから、事業は概ね順調に進捗した。		

167 下水道浸水対策事業

担当:建設局

事業概要	「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる防災の方針に基づき、浸水実績や浸水シミュレーションにおける浸水リスクの高い地域から段階的・効率的な雨水排水施設の整備を進めるとともに、自助・共助などの取り組みを組み合わせた総合的な浸水対策を進めることにより、市街地における浸水リスクの低減を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	仙台駅西口地区：雨水幹線などの整備		
	仙台駅東口地区：計画策定・設計		施設整備
	福室排水区：設計	西原雨水ポンプ場・雨水管などの整備	
	原町東部排水区：計画策定・設計		施設整備
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仙台駅西口地区 雨水幹線などの整備：予定通り工事を実施（現在も継続中）</li> <li>○仙台駅東口地区 計画策定・設計：関係機関との協議を行った</li> <li>○福室排水区 西原雨水ポンプ場・雨水管などの整備：予定通り工事を実施（現在も継続中）</li> <li>○原町東部排水区 計画策定・設計：関係機関との協議が完了（現在は設計を進めている）</li> </ul>		
評価の理由	年次計画通りの実績であり、事業は概ね順調に進捗した。		

168 下水道地震対策事業

担当:建設局

事業概要	「仙台市下水道マスタープラン」に掲げる防災の方針に基づき、震災時における都市機能の確保と公衆衛生の確保を図るため、地震時に構造面・機能面で高いリスクを持つ下水道施設の耐震化を図ります。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	第3南蒲生幹線の整備		
	下水道管さよの耐震化の実施		
	ポンプ場・浄化センターの耐震化の実施		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第3南蒲生幹線の整備：予定通り工事を実施し（4件継続中）</li> <li>○下水道管さよの耐震化の実施：予定通り耐震化工事を実施（6件竣工、5件継続中）</li> <li>○ポンプ場・浄化センターの耐震化の実施：予定通り耐震補強工事を実施（2件竣工、3件継続中）</li> </ul>		
評価の理由	年次計画通りの実績であり、事業は概ね順調に進捗した。		

169 水道施設災害対策事業

担当:水道局

事業概要	災害に強い水道施設とシステムづくりを推進するとともに、被災時にも給水が継続できる体制を強化するため、水道施設や管路の計画的な耐震化や、災害時給水栓による応急給水体制の強化に取り組みます。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	施設の耐震化を順次実施		
	重要給水施設への耐震化 新たな対象施設への布設計画検討	重要給水施設への耐震化の実施	
	災害時給水栓の設置を順次実施		
	災害時給水栓の 新たな対象施設検討	災害時給水栓の 設置計画の検討	検討を踏まえて 災害時給水栓設置
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の耐震化を順次実施：浄水場の主要施設（沈澱池、ろ過池）の耐震化について耐震診断を実施し、茂庭浄水場ろ過池及び福岡浄水場ろ過池にて耐震性を有することを確認</li> <li>○重要給水施設への耐震化 新たな対象施設への布設計画検討：医療機関などへの管路耐震化、福祉施設及び防災拠点などへの管路耐震化の計画策定及び令和4年度事業開始への準備作業を実施</li> <li>○災害時給水栓の設置を順次実施：指定避難所である市立小・中・高等学校153校の整備完了（令和4年度工事の完了により目標である全177校の整備終了予定）</li> <li>○災害時給水栓の新たな対象施設検討：災害時給水栓を新たに整備する対象施設などの洗い出しを実施</li> </ul>		
評価の理由	それぞれの事業について、年次計画を概ね達成することができた。		

## チャレンジプロジェクト 自己評価シート

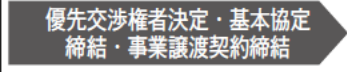

### ⑨ 市政運営

#### ④ ガス事業民営化推進

目標	電力・ガス自由化後の競争環境に対応し、さらなる市民サービスの向上などを図るため、弾力的な運営が可能な民間事業者に経営を委ね、ガス事業の民営化を推進します。
総括	事業に遅れが生じており、一層の対策を講じていく必要がある。

#### 170 ガス事業民営化推進事業

担当:ガス局

事業概要	電力・ガス自由化後の競争環境に対応し、さらなる市民サービスの向上などを図るため、事業が円滑に継承されるよう業務の引継ぎを行い、ガス事業の民営化を推進します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			
進捗状況	△		
令和3年度の主な実績	○優先交渉権者決定・基本協定締結・事業譲渡契約締結：6月に応募者から提案審査書類の提出があり、仙台市ガス事業民営化推進委員会において審査を行った結果、9月に、同委員会から最優秀提案者の該当なしとする第三次答申が提出されたことを踏まえ、本市として優先交渉権者の該当なしと決定 また、12月から令和4年3月にかけて、本市ガス事業民営化の公募条件やプロセスなどに係る検証を実施		
評価の理由	令和2年度から実施した本市ガス事業民営化の公募では、優先交渉権者の決定には至らなかったものの、その後の検証により、次期公募に向けて改善すべき事項や課題を把握し、今後の方向性の整理を行った。 今後、検証結果を踏まえ、民間事業者との意見交換を行い、事業者の動向を把握しながら、次期公募の進め方や条件等について整理を行うなど、民営化の取り組みを進める。		

# チャレンジプロジェクト 自己評価シート

## ⑨ 市政運営

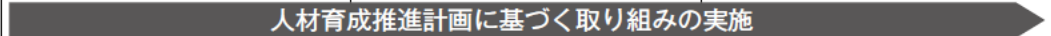
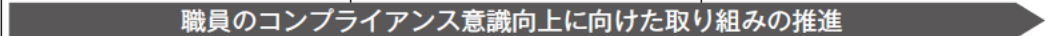
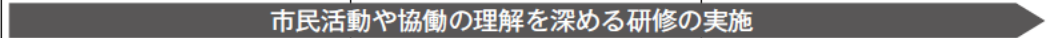
### ⑤ 人材育成機能・組織力強化

目標	社会環境の変化に伴い、複雑化・多様化するさまざまな課題に対応できる職員の育成を行うとともに、職員の能力の発揮につなげる職場の環境づくりに取り組みます。					
総括	事業は着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	職員アンケートにおける「自身のキャリアや強みを理解・意識している」「ある程度理解・意識している」と答えた職員の割合	84.1% (令和2年度)	基準値以上	— ※		
	職員意識調査における「日頃からコンプライアンスを意識している」「そう思う」「まあそう思う」と答えた職員の割合	93.7% (令和2年度)	基準値以上	94.4%		

※アンケートは3年に1度実施予定であり、今回は令和5年度を予定。

#### 171 人材育成機能・組織力強化事業

担当：総務局、市民局

事業概要	職員一人ひとりが知識や技術の向上を図るため、組織的なOJTや研修の体系化などと併せ、人事評価制度等を活用した人材育成の推進や、多様な主体と連携や調整を行う能力開発なども進めるとともに、職員が能力を十分に発揮できる働きやすい職場環境づくりに取り組みます。また、職員のコンプライアンス意識向上に向けた取り組みを推進します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	  		
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材育成推進計画に基づく取り組みの実施：本計画の重点取組方針に係る取り組みを進めるため、局区研修実施計画の試行版作成、キャリア形成のための職場紹介シートの試行作成及び人事課庁内HPでの全庁公開、職種・職域ごとの育成指針の策定状況整理を実施</li> <li>○職員のコンプライアンス意識向上に向けた取り組みの推進：階層別や管理職向けのコンプライアンス研修を実施した他、コンプライアンス推進に資するため、幹部職員による職場訪問や所属職員との懇談会を実施</li> <li>○市民活動や協働の理解を深める研修の実施：係長職と新規採用の職員を対象に、協働によるまちづくりや市民協働をテーマとした研修を実施 (職員をNPO法人などへ派遣するNPO留学については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った)</li> </ul>		
評価の理由	<p>人材育成推進計画の各取組内容については、概ね順調に進捗している。今後は、キャリア形成を促す方策の充実や、OJT推進の仕組みづくりの構築などを中心に推進していく。また、職員のコンプライアンス意識向上に向けた取り組みについても、引き続き事業を進めるとともに、職員意識調査の結果やコンプライアンス推進委員会の意見等を踏まえながら、より効果的な取り組みとなるよう見直しを図っていく。</p> <p>市民活動や協働の理解を深める研修については、新型コロナウイルスの影響により一部実施を見送った事業があったが、協働に関する基礎知識や協働事例を学ぶ職員研修を実施し、人材育成基本方針に掲げる「多様な主体と協働する職員」の育成に取り組んだ。今後は新型コロナウイルス感染症の影響も考慮しながら、引き続き市民活動や協働の理解を深める研修を実施していく。</p>		



# チャレンジプロジェクト 自己評価シート

## ⑨ 市政運営

### ⑥ デジタル化推進

目標	行政手続きの利便性や市民サービスの向上、市民の安全安心な暮らしや地域・経済活動の活性化を図るため、市政の幅広い範囲においてデジタル化を進めます。					
総括	事業は着実に進捗した。					
数値目標	項目	基準値	目標値	実績		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	RPA導入・利活用推進による累積削減時間	—	129,000時間 (令和5年度)	13,797時間		
	RPA導入・利活用推進による適用業務数	—	220業務 (令和5年度)	87業務		
	RPA導入・利活用推進による1業務あたり平均削減時間	—	300時間 (令和5年度)	305.3時間		
	年間1,000件以上申請がある手続き及び国が示す地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続きのうち、インターネットで可能な手続きの割合	4% (令和元年度)	50% (令和5年度)	・年間1,000件以上申請がある手続き：11% ・国が示す地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続き：34%		
Web会議で実施した会議・研修等の数	—	200 (令和5年度)	1,045回			

## 172 デジタル化推進事業

担当：まちづくり政策局

事業概要	行政手続きや市民サービス、地域・経済活動、市役所の内部業務など、市政の幅広い範囲においてデジタル化を推進します。		
年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	計画策定	デジタル化の推進と進行管理	
進捗状況	○		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画策定：本市において、デジタル社会の構築に向けた都営組を迅速に、かつ着実に進めて行くため、6月に仙台市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画を策定</li> <li>○デジタル化の推進と進行管理：上記計画のもと、各種オンライン相談の実施や窓口でのキャッシュレス決済の導入など市民サービス向上の取り組み、RPAや業務改善プラットフォームの活用による業務効率化の取り組みを推進</li> </ul>		
評価の理由	<p>年次計画のとおり、本市デジタル化推進のための計画を策定し、各種オンライン相談の実施やキャッシュレス決済の導入、RPAの利活用による業務改善、高齢者向けスマホ教室などの取り組みを進めてきた。</p> <p>いずれも一定の進捗が図られているが、令和5年度までの目標達成を見据えると、適用可能な業務の掘り起こし、類似業務への横展開など取り組み推進には一層の強化が求められる。引き続き、デジタル技術の活用による業務改善・効率化や多様化する市民ニーズに応える、ひとを中心としたDXに取り組む。</p>		